今井川地下調節池設備長寿命化計画

2026 年度～2075 年度

横浜市下水道河川局

目　次

1. 総　括

今井川地下調節池設備長寿命化計画

事業主体	横浜市		
計画の目標	流域の浸水被害軽減を図る役割を担う重要施設について、施設の機能を計画的、予防的に確保することで長寿命化し、ライフサイクルコスト縮減を図る。		
計画期間	2026年度～2075年度	ライフサイクルタイム	50年
全体事業費	5,557.7　百万円	コスト縮減額	3,577.9　百万円

実施内容

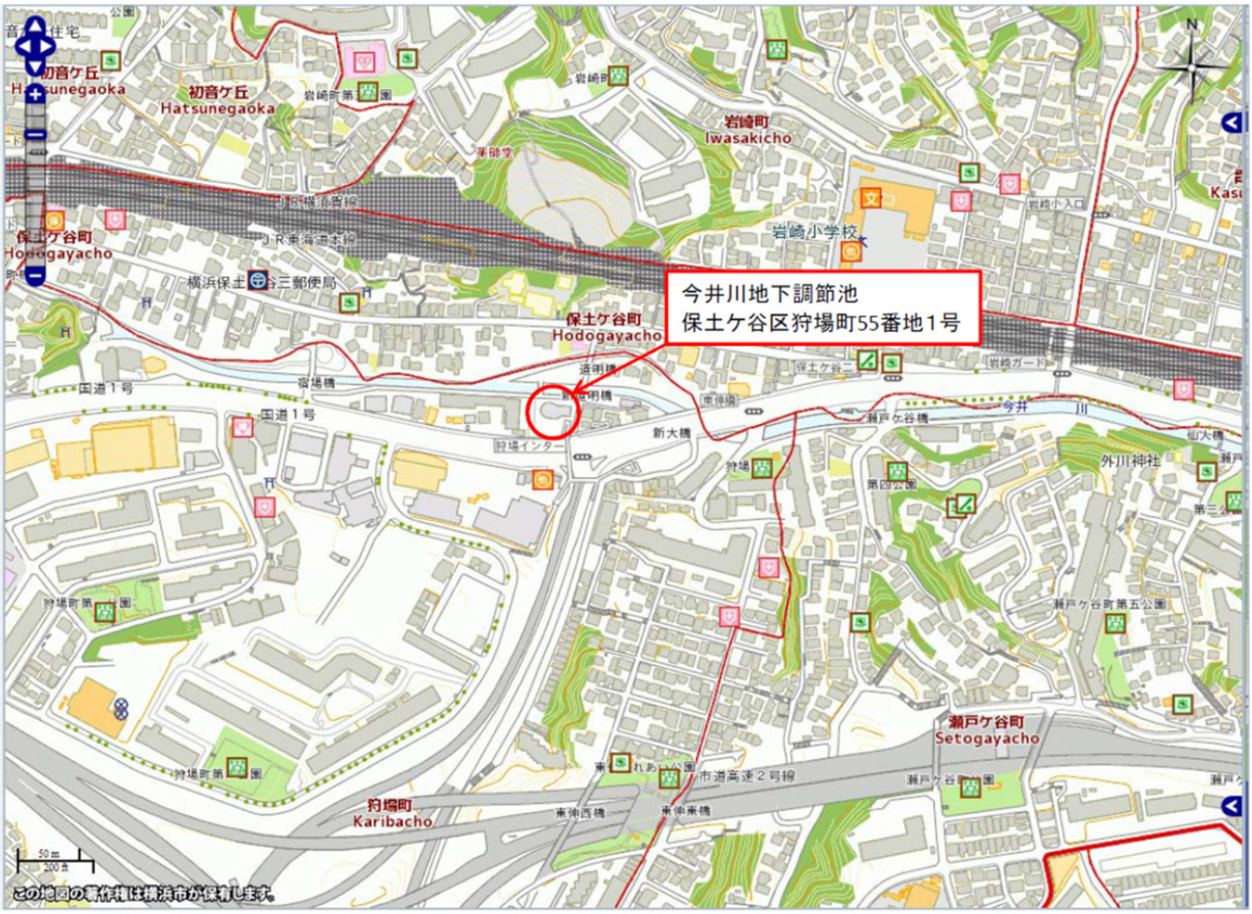
施設名	施設種別	施設設置 河川名	施設設置 市町村名	事業費（百万円） 交付金対象事業費	交付金対象外事業費	総事業費
今井川地下調節池	ポンプ設備	今井川	保土ケ谷区狩場町	3,510.7	2,047.0	5,557.7
						5,557.7

2. 計画策定施設位置図

今井川地下調節池長寿命化計画　施設位置図

事業施設名	今井川地下調節池
施設設置市町村	保土ケ谷区狩場町

施設位置図



3. 長期保全計画

3−1 計画的な保全に関する基本的事項

今井川地下調節池は今井川流域の浸水対策として、河道の整備をさらに進めるとともに速効的な効果を得るために近接する国道１号線の地下に長大なトンネル式の地下調節池を設置し、流域全体の治水安全度を向上させるため施設である。

本計画では、今井川地下調節池に設定されている機械設備、電気設備を対象とし、機械設備の計画策定にあたっては、「河川ポンプ設備点検・整備・更新検討マニュアル（案）」および「河川用ゲート設備点検・整備・更新検討マニュアル（案）」に基づき、機器の健全度、設備区分のレベル、設置条件等を総合的に評価し、設備の信頼性と保全コストの低減を図るための技術的・経済的な面から検討を行った。

電気設備の計画策定にあたっては、「電気通信施設維持管理計画指針（案）」および「電気通信施設アセットマネジメント要領・同解説（案）」の考え方に基づき、検討を行った

1）長寿命化計画基本方針

点検、整備等による予防保全による、施設の長寿命化を図ることにより、事業費の大規模化及び高コスト化を回避し、トータルコストの縮減に努める。

2）日常的な維持管理及び点検・整備方針

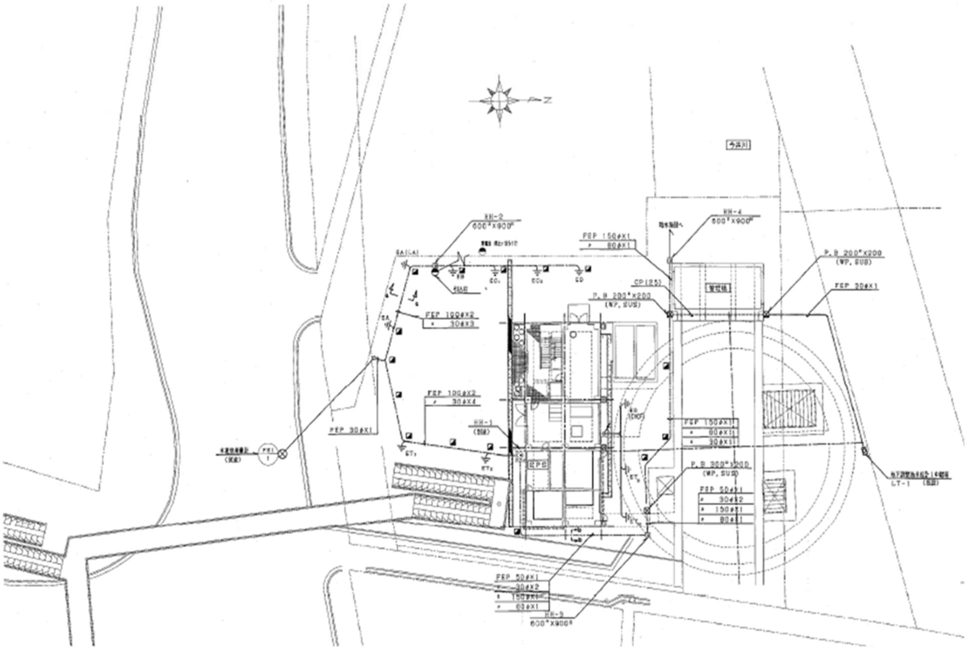
本設備は、治水設備でありかつ社会的にも重要な設備であることから、運転管理委託業者による月２回の点検を実施するとともに、電気設備については、専門技術者による年１回の定期点検を実施することで、設備の損傷等の早期把握に努める。

3−2 施設一般図

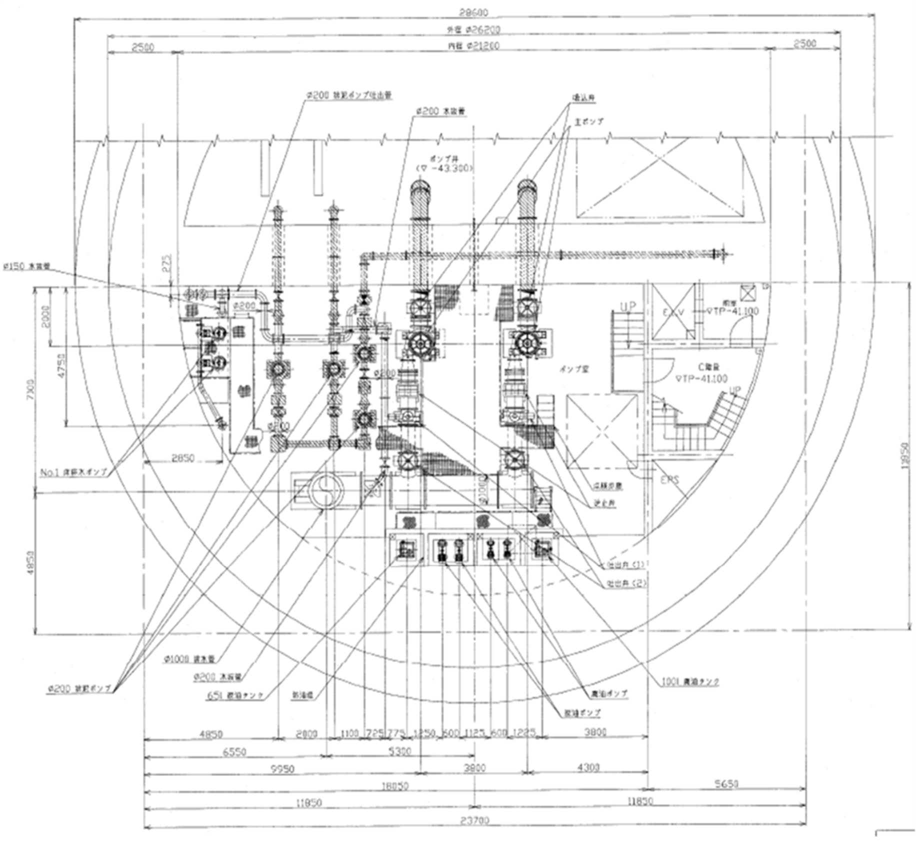
今井川地下調節池長寿命化計画　施設一般図

事業施設名	今井川地下調節池
施設設置市町村	保土ケ谷区狩場町

施設全体平面図



ポンプ設備平面図



様式ー施設写真(参考)

施　設　写　真

①ポンプ設備

②操作室上屋

3−3 点検計画

1）定期点検

運転管理委託業者による月２回の点検を実施するとともに、電気設備については、専門技術者による年１回の定期点検を実施することを原則とし、設備の損傷等の早期把握に努める。

2）臨時点検

地震、落雷等が発生した場合に設備への外的要因による異常、損傷の有無の確認を目的とし、必要に応じて施設の点検を実施する。なお、大規模な地震の際には設備の他、関連する堰・水門本体等の土木構造物等の被害状況にも注意を払うこととする。

3）年間計画表

○：月点検　◎：年点検

<table>
<tr><th>点検種別</th><th>4</th><th>5</th><th>6</th><th>7</th><th>8</th><th>9</th><th>10</th><th>11</th><th>12</th><th>1</th><th>2</th><th>3</th><th>備考</th></tr>
<tr><td>機械設備全般
（試運転含）</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>月点検は月２回実施
排水作業時に動作確認を含めた点検を実施</td></tr>
<tr><td>電気設備全般</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>月点検は月２回実施</td></tr>
<tr><td>小型演算装置</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="2">◎</td><td></td><td>１回／年</td></tr>
<tr><td>無停電電源装置</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="2">◎</td><td></td><td>１回／年</td></tr>
<tr><td>受電設備</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="2">◎</td><td></td><td>１回／年</td></tr>
<tr><td>計装設備</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="3">◎</td><td>１回／数年</td></tr>
<tr><td>遮断器</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="3">◎</td><td>１回／数年</td></tr>
<tr><td>発電設備</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="3">◎</td><td></td><td></td><td>１回／年</td></tr>
<tr><td>防災設備</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>◎</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>◎</td><td></td><td>２回／年</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">非出水期</td><td colspan="5">出水期</td><td colspan="5">非出水期</td><td></td></tr>
</table>

表 中長期保全計画表(1/8)

■:整備(分解、部品交換含　■:更新

単位:百万円

	設備及び機器	設置数	致命／非致命区分	仕様	特記事項	整備費(百万円)	更新費(百万円)	整備年数(年)	標準耐用年(年)	最終整備年	設置年(年)	最終更新年(※)
今井地下調節池												
1. 主ポンプ設備												
I	No.10主ポンプ 【B6F】	1	致命	立軸渦巻斜流式、型式:DS-VV、口径:φ500×350、吐出量:31m3/min、揚程:52m、ﾌﾗﾝｼﾞ:水協		42.4	52.6	17	39	2015	2003	2003
I	No.20主ポンプ 【B6F】	1	致命	立軸渦巻斜流式、型式:DS-VV、口径:φ500×350、吐出量:31m3/min、揚程:52m、ﾌﾗﾝｼﾞ:水協		42.4	52.6	17	39	2015	2003	2003
I	No.10主ポンプ用減速機 【B5F】	1	致命	空冷式直交軸傘歯車式(油圧クラッチ付)、出力:320kw×1000/940min-1		26.3	39.9	17	45	2015	2003	2003
I	No.20主ポンプ用減速機 【B5F】	1	致命	空冷式直交軸傘歯車式(油圧クラッチ付)、出力:320kw×1000/940min-1		26.3	39.9	17	45	2015	2003	2003
I	No.10電動吐出弁 【B6F】	1	致命	片勾配外ねじ電動仕切弁、口径:500mm、使用圧力:0.52MPa、ﾌﾗﾝｼﾞ面間:530mm(水協)、電動機仕様:2.2kw×400V×50Hz		4.5	5.1	25	55		2003	2003
I	No.20電動吐出弁 【B6F】	1	致命	片勾配外ねじ電動仕切弁、口径:500mm、使用圧力:0.52MPa、ﾌﾗﾝｼﾞ面間:530mm(水協)、電動機仕様:2.2kw×400V×50Hz		4.5	5.1	25	55		2003	2003
I	No.10手動吐出弁 【B6F】	1	致命	両勾配外ねじ手動仕切弁、口径:500mm、使用圧力:0.1MPa、ﾌﾗﾝｼﾞ面間:530mm(水協)		2.1	2.5	28	55		2003	2003
I	No.20手動吐出弁 【B6F】	1	致命	両勾配外ねじ手動仕切弁、口径:500mm、使用圧力:0.1MPa、ﾌﾗﾝｼﾞ面間:530mm(水協)		2.1	2.5	28	55		2003	2003
I	No10吸込弁 【B6F】	1	致命	両勾配外ねじ式手動仕切弁、使用圧力:0.52MPa、ﾌﾗﾝｼﾞ規格:JIS B2064 2種(水協)、ﾌﾗﾝｼﾞ面間:530mm		2.1	2.5	28	55		2003	2003
I	No20吸込弁 【B6F】	1	致命	両勾配外ねじ式手動仕切弁、使用圧力:0.52MPa、ﾌﾗﾝｼﾞ規格:JIS B2064 2種(水協)、ﾌﾗﾝｼﾞ面間:530mm		2.1	2.5	28	55		2003	2003
I	No.10逆止弁 【B6F】	1	致命	緩閉式、口径:φ500mm、使用圧力:0.52MPa、ﾌﾗﾝｼﾞ規格:水協、ﾌﾗﾝｼﾞ面間:980mm		6.9	8.0	28	48	2015	2003	2003
I	No.20逆止弁 【B6F】	1	致命	緩閉式、口径:φ500mm、使用圧力:0.52MPa、ﾌﾗﾝｼﾞ規格:水協、ﾌﾗﾝｼﾞ面間:980mm		6.9	8.0	28	48	2015	2003	2003
2. 主ポンプ駆動設備												
I	No10主ポンプ用原動機 【B5F】	1	致命	ｶﾞｽﾀｰﾋﾞﾝ機関(単純開放2軸式)、型式:AT9T、定格出力:420kW、始動方式:ｾﾙﾓｰﾀ、回転:1000min-1	制御盤、各消音器、ﾀﾞﾝﾊﾟｰ等付	20.0	176.3	20	40	2025	2003	2003
I	No20主ポンプ用原動機 【B5F】	1	致命	ｶﾞｽﾀｰﾋﾞﾝ機関(単純開放2軸式)、型式:AT9T、定格出力:420kW、始動方式:ｾﾙﾓｰﾀ、回転:1000min-1	制御盤、各消音器、ﾀﾞﾝﾊﾟｰ等付	20.0	176.3	20	40	2025	2003	2003
I	No.10原動機用 始動用蓄電池設備盤 【B5F】	1	致命	屋内自立型、型式:YK84-500M124T12、浮動充電圧:DC26.76V、浮動充電流:DC12A、電池形式:MSE-500、容量:24V500Ah	整備費・周期見直し20.12	2.5	8.8	9	40	2020	2003	2003
I	No.20原動機用 始動用蓄電池設備盤 【B5F】	1	致命	屋内自立型、型式:YK84-500M124T12、浮動充電圧:DC26.76V、浮動充電流:DC12A、電池形式:MSE-500、容量:24V500Ah		2.5	8.8	9	40	2020	2003	2003
3. その他ポンプ設備												
II	No1-1排泥ポンプ 【B6F】			廃止検討		5.0	8.3	11	22		2001	2001
II	No1-2排泥ポンプ 【B6F】					5.0	8.3	11	22		2001	2001
II	No2排泥ポンプ 【B6F】					5.0	8.3	11	22		2001	2001
II	No3排泥ポンプ 【B6F】					5.0	8.3	11	22		2001	2021
II	No1沈砂池排水ポンプ 【沈砂池】	1	非致命	ｻﾝﾄﾞﾎﾟﾝﾌﾟ、口径:φ80、吐出量:0.55m3/min、揚程:20m、電動機出力:5.5kW(400V)			1.2		22		2000	2000
II	No2沈砂池排水ポンプ 【沈砂池】	1	非致命	ｻﾝﾄﾞﾎﾟﾝﾌﾟ、口径:φ80、吐出量:0.55m3/min、揚程:20m、電動機出力:5.5kW(400V)			1.2		22		2000	2000
II	No1床排水ポンプ 【B6F】	1	非致命	ﾘﾌﾄ式水中ｽｸﾘｭｰ渦巻式、型式:KS-SP、口径:φ150、吐出量:1m3/min、揚程:29m、電動機出力:15kW×400V×4P			18.0		22		2003	2003
II	No2床排水ポンプ 【B6F】	1	非致命	ﾘﾌﾄ式水中ｽｸﾘｭｰ渦巻式、型式:KS-SP、口径:φ150、吐出量:1m3/min、揚程:29m、電動機出力:15kW×400V×4P			18.0		22		2003	2003
II	No1床排水中継ポンプ 【B3F】	1	非致命	横軸ｽｸﾘｭｰ渦巻式、型式:KV-SP, 口径:φ150、吐出量:1m3/min、揚程:31m、電動機出力:15kW×400V×4P			10.0		31		2003	2003
II	No2床排水中継ポンプ 【B3F】	1	非致命	横軸ｽｸﾘｭｰ渦巻式、型式:KV-SP, 口径:φ150、吐出量:1m3/min、揚程:31m、電動機出力:15kW×400V×4P			10.0		31		2003	2003

設備及び機器	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041	2042	2043	2044	2045	2046	2047	2048	2049	2050
	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
No.10主ポンプ 【B6F】							###															21.0	31.6		
No.20主ポンプ 【B6F】								###																21.0	31.6
No.10主ポンプ用減速機 【B5F】													###										39.9		
No.20主ポンプ用減速機 【B5F】														###											39.9
No.10電動吐出弁 【B6F】												4.5											5.1		
No.20電動吐出弁 【B6F】												4.5													5.1
No.10手動吐出弁 【B6F】												2.1											2.5		
No.20手動吐出弁 【B6F】												2.1													2.5
No10吸込弁 【B6F】												2.1											2.5		
No20吸込弁 【B6F】												2.1													2.5
No.10逆止弁 【B6F】																		6.9							
No.20逆止弁 【B6F】																		6.9							
No10主ポンプ用原動機 【B5F】																		70.5	105.8						
No20主ポンプ用原動機 【B5F】																				70.5	105.8				
No.10原動機用 始動用蓄電池設備盤 【B5F】							2.5											3.5	5.3						
No.20原動機用 始動用蓄電池設備盤 【B5F】							2.5													3.5	5.3				
No1-1排泥ポンプ 【B6F】																									
No1-2排泥ポンプ 【B6F】																									
No2排泥ポンプ 【B6F】																									
No3排泥ポンプ 【B6F】																									
No1沈砂池排水ポンプ 【沈砂池】								1.2																	
No2沈砂池排水ポンプ 【沈砂池】								1.2																	
No1床排水ポンプ 【B6F】		18.0																						18.0	
No2床排水ポンプ 【B6F】		18.0																						18.0	
No1床排水中継ポンプ 【B3F】									10.0																
No2床排水中継ポンプ 【B3F】									10.0																

設備及び機器	2051	2052	2053	2054	2055	2056	2057	2058	2059	2060	2061	2062	2063	2064	2065	2066	2067	2068	2069	2070	2071	2072	2073	2074	2075	備考
	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	
	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	
No.10主ポンプ 【B6F】															###											
No.20主ポンプ 【B6F】																	###									
No.10主ポンプ用減速機 【B5F】																###										
No.20主ポンプ用減速機 【B5F】																		###								
No.10電動吐出弁 【B6F】																										
No.20電動吐出弁 【B6F】																										
No.10手動吐出弁 【B6F】																										
No.20手動吐出弁 【B6F】																										
No10吸込弁 【B6F】																										
No20吸込弁 【B6F】																										
No.10逆止弁 【B6F】		8.0																								
No.20逆止弁 【B6F】		8.0																								
No10主ポンプ用原動機 【B5F】														###												
No20主ポンプ用原動機 【B5F】																###										
No.10原動機用 始動用蓄電池設備盤 【B5F】			2.5									2.5									2.5					
No.20原動機用 始動用蓄電池設備盤 【B5F】			2.5									2.5									2.5					
No1-1排泥ポンプ 【B6F】																										
No1-2排泥ポンプ 【B6F】																										
No2排泥ポンプ 【B6F】																										
No3排泥ポンプ 【B6F】																										
No1沈砂池排水ポンプ 【沈砂池】					1.2																					
No2沈砂池排水ポンプ 【沈砂池】					1.2																					
No1床排水ポンプ 【B6F】																					18.0					
No2床排水ポンプ 【B6F】																					18.0					
No1床排水中継ポンプ 【B3F】															10.0											
No2床排水中継ポンプ 【B3F】															10.0											

表　中長期保全計画表(2/8)

□:整備(分解、部品交換含　□:更新

単位:百万円

	設備及び機器	設置数	致命／非致命区分	仕様	特記事項	整備費(百万円)	更新費(百万円)	整備年数(年)	標準耐用年(年)	最終整備年	設置年(年)	最終更新年(※)
今井地下調節池												
4. 系統機器設備												
Ⅰ	No.1地下タンク【屋外】	1	致命	8,000L			7.2		33		2003	2003
Ⅰ	No.2地下タンク【屋外】	1	致命	8,000L			7.2		33		2003	2003
Ⅰ	発電設備用燃料サービスタンク【1F】	1	致命	鋼板製角型タンク(灯油)、150L			2.1		36		2003	2003
Ⅰ	原動機用燃料サービスタンク【B5F】	1	致命	鋼板製角型タンク(灯油)、500L			2.2		40		2003	2003
Ⅰ	返油タンク【B6F】	1	致命	鋼板製角型タンク(灯油)、65L			2.1		40		2003	2003
Ⅰ	廃油タンク【B6F】	1	致命	鋼板製角型タンク(灯油)、100L			2.1		40	2014	2003	2003
Ⅱ	No.1発電機用燃料移送ポンプ【1F】	1	非致命	ギヤポンプ、口径:25mm、吐出圧力:0.3MPa、吐出量:25L/min、電動機:0.75kW×400V×50Hz			0.3		18		2003	2003
Ⅱ	No.2発電機用燃料移送ポンプ【1F】	1	非致命	ギヤポンプ、口径:25mm、吐出圧力:0.3MPa、吐出量:25L/min、電動機:0.75kW×400V×50Hz			0.3		18		2003	2003
Ⅱ	No.1原動機用燃料移送ポンプ【1F】	1	非致命	ギヤポンプ、口径:25mm、吐出圧力:0.3MPa、吐出量:25L/min、電動機:0.75kW×400V×50Hz			0.3		20		2003	2003
Ⅱ	No.2原動機用燃料移送ポンプ【1F】	1	非致命	ギヤポンプ、口径:25mm、吐出圧力:0.3MPa、吐出量:25L/min、電動機:0.75kW×400V×50Hz			0.3		20		2003	2003
Ⅱ	No.1返油ポンプ【B6F】	1	非致命	ギヤポンプ、口径:25mm、吐出圧力:0.65MPa、吐出量:30L/min、電動機:2.2kW×400V×50Hz			0.3		20		2003	2003
Ⅱ	No.2返油ポンプ【B6F】	1	非致命	ギヤポンプ、口径:25mm、吐出圧力:0.65MPa、吐出量:30L/min、電動機:2.2kW×400V×50Hz			0.3		20		2003	2003
Ⅱ	No.1廃油ポンプ【B6F】	1	非致命	ギヤポンプ、口径:25mm、吐出圧力:0.65MPa、吐出量:8L/min、電動機:0.75kW×400V×50Hz			0.2		20		2003	2003
Ⅱ	No.2廃油ポンプ【B6F】	1	非致命	ギヤポンプ、口径:25mm、吐出圧力:0.65MPa、吐出量:8L/min、電動機:0.75kW×400V×50Hz			0.2		20		2003	2003
5. ゲート設備												
Ⅰ	No.1流入ゲート本体【沈砂池】	1	致命	鋼板製油圧ローラーゲート、W8000×H2567		53.2	66.5	29	58		2002	2002
Ⅰ	No.1流入ゲート油圧シリンダ【沈砂池】	1	致命			8.9	11.1	20	37		2002	2002
Ⅰ	No.1流入ゲート油圧ユニット【沈砂池】	1	致命	油圧ポンプ式、電動機出力:5.5kW		4.5	5.6	18	31		2002	2002
Ⅰ	No.2流入ゲート本体【沈砂池】	1	致命	鋼板製油圧ローラーゲート、W8000×H2567		53.2	66.5	29	58		2002	2002
Ⅰ	No.2流入ゲート油圧シリンダ【沈砂池】	1	致命			8.9	11.1	20	37		2002	2002
Ⅰ	No.2流入ゲート油圧ユニット【沈砂池】	1	致命	油圧ポンプ式、電動機出力:5.5kW		4.5	5.6	18	31		2002	2002
Ⅰ	放流ゲート本体【屋外】	1	致命	ステンレス鋼板製電動ゲート、水密:四方、開閉速度:0.3m/min、W1000×H1000			18.0		58		2002	2002
Ⅰ	放流ゲート開閉機【屋外】	1	致命	電動機出力:0.75kW×400V×50Hz		7.0	8.0	27	46		2002	2002
6. 除塵設備												
Ⅰ	越流堤スクリーン	1	致命	3～8m×80m、材質:SUS304			60.5		40	1995	1995	1995
Ⅰ	ポンプ井スクリーン	1	致命	SUS304			16.5		40	2001	2001	2001

設備及び機器	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041	2042	2043	2044	2045	2046	2047	2048	2049	2050
今井地下調節池																									
	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
4. 系統機器設備																									
No.1地下タンク【屋外】											7.2														
No.2地下タンク【屋外】											7.2														
発電設備用燃料サービスタンク【1F】														2.1											
原動機用燃料サービスタンク【B5F】																		2.2							
返油タンク【B6F】																		2.1							
廃油タンク【B6F】																		2.1							
No.1発電機用燃料移送ポンプ【1F】														0.3											
No.2発電機用燃料移送ポンプ【1F】														0.3											
No.1原動機用燃料移送ポンプ【1F】																		0.3							
No.2原動機用燃料移送ポンプ【1F】																		0.3							
No.1返油ポンプ【B6F】																		0.3							
No.2返油ポンプ【B6F】																		0.3							
No.1廃油ポンプ【B6F】																		0.2							
No.2廃油ポンプ【B6F】																		0.2							
5. ゲート設備																									
No.1流入ゲート本体【沈砂池】											###														
No.1流入ゲート油圧シリンダ【沈砂池】											8.9														
No.1流入ゲート油圧ユニット【沈砂池】											4.5														
No.2流入ゲート本体【沈砂池】											###														
No.2流入ゲート油圧シリンダ【沈砂池】											8.9														
No.2流入ゲート油圧ユニット【沈砂池】											4.5														
放流ゲート本体【屋外】																									
放流ゲート開閉機【屋外】												7.0													
6. 除塵設備																									
越流堤スクリーン																		60.5							
ポンプ井スクリーン																			16.5						

設備及び機器	2051	2052	2053	2054	2055	2056	2057	2058	2059	2060	2061	2062	2063	2064	2065	2066	2067	2068	2069	2070	2071	2072	2073	2074	2075	備考
今井地下調節池																										
	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	
	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	
4. 系統機器設備																										
No.1地下タンク【屋外】																			7.2							
No.2地下タンク【屋外】																			7.2							
発電設備用燃料サービスタンク【1F】																									2.1	
原動機用燃料サービスタンク【B5F】																										
返油タンク【B6F】																										
廃油タンク【B6F】																										
No.1発電機用燃料移送ポンプ【1F】							0.3																		0.3	
No.2発電機用燃料移送ポンプ【1F】							0.3																		0.3	
No.1原動機用燃料移送ポンプ【1F】													0.3													
No.2原動機用燃料移送ポンプ【1F】													0.3													
No.1返油ポンプ【B6F】													0.3													
No.2返油ポンプ【B6F】													0.3													
No.1廃油ポンプ【B6F】													0.2													
No.2廃油ポンプ【B6F】													0.2													
5. ゲート設備																										
No.1流入ゲート本体【沈砂池】											66.5															
No.1流入ゲート油圧シリンダ【沈砂池】											11.1															
No.1流入ゲート油圧ユニット【沈砂池】											5.6															
No.2流入ゲート本体【沈砂池】												66.5														
No.2流入ゲート油圧シリンダ【沈砂池】												11.1														
No.2流入ゲート油圧ユニット【沈砂池】												5.6														
放流ゲート本体【屋外】													18.0													
放流ゲート開閉機【屋外】													8.0													
6. 除塵設備																										
越流堤スクリーン																										
ポンプ井スクリーン																										

表　中長期保全計画表(3/8)

□：整備(分解、部品交換含　□：更新

単位：百万円

	設備及び機器	設置数	致命／非致命区分	仕　様	特記事項	整備費（百万円）	更新費（百万円）	整備年数（年）	標準耐用年（年）	最終整備年	設置年（年）	最終更新年(※)	備　考
今井地下調節池													
7. 脱臭設備													
Ⅱ	No.1活性炭吸着塔 【B2F】	1	非致命	処理能力：150m3/min			31.6		50		2002	2002	
Ⅱ	No.2活性炭吸着塔 【B3F】	1	非致命	処理能力：150m3/min			31.6		50		2002	2002	
Ⅱ	No.1脱臭ファン 【B1F】	1	非致命	ターボファン、送風能力：150m3/min、1.3kPa、電動機出力：7.5kW			3.9		30		2002	2002	
Ⅱ	No.2脱臭ファン 【B1F】	1	非致命	ターボファン、送風能力：150m3/min、1.3kPa、電動機出力：7.5kW			3.9		30		2002	2002	
Ⅱ	No.1乾式エアフィルタ 【B1F】	1	非致命	型式：V-J、容量：150m3/min、電源：400V 50Hz			9.4		30		2002	2002	
Ⅱ	No.2乾式エアフィルタ 【B1F】	1	非致命	型式：V-J、容量：150m3/min、電源：400V 50Hz			9.4		30		2002	2002	
8. 附属設備													
Ⅱ	床排水中継水槽 【B3F】	1	非致命	容量：3m3			2.4		26		2003	2003	
Ⅱ	換気設備　一式（全熱交換ﾕﾆｯﾄを除く）	1	非致命				13.1		30		2003	2003	
Ⅱ	パッケージ形空気調和器（操作室）　ACP-1	1	非致命	型式：（室内機）PF-RP224BA16、（室外機）PUZ-RP224KA13 床置式（20kW）×1台			3.1		25		2003	2020	
Ⅱ	パッケージ形空気調和器（UPS室）　ACP-2	1	非致命	型式：（室内機）PS-RP140KA16、（室外機）PUZ-RP224KA13 床置式（12.5kW）×1台			1.8		25		2003	2020	
Ⅱ	パッケージ形空気調和器（工作室）　ACP-3	1	非致命	型式：（室内機）PL-RP112LA16、（室外機）PUZ-ERMP140LA10 天ｶｾ（10kW）×2台			1.9		25		2003	2020	
Ⅱ	全熱交換器（操作室）　AEU-1	1	非致命	型式：VAC500FA(S)、天埋、180m3/h			0.3		30		2003	2003	
Ⅱ	全熱交換器（工作室）　AEU-1	1	非致命	型式：VAM800G(S)、天埋、660m3/h			0.6		30		2003	2003	
Ⅱ	No.1エレベータ	1	非致命				65.0		25		2004	2004	
Ⅱ	No.2エレベータ	1	非致命				65.0		25		2004	2004	
Ⅱ	照明設備　一式	1	非致命				65.0		30		2003	2003	
Ⅱ	二酸化炭素消火設備	1	非致命				20.0		30		2003	2003	
Ⅱ	防災設備　一式（二酸化炭素消火設備を除く）	1	非致命				25.3		30		2003	2024	
Ⅱ	衛生設備　一式　（給排水設備を除く）	1	非致命	水栓、小便器、大便器等、SK等			1.3		30		2003	2003	
Ⅱ	給水設備　一式	1	非致命				2.0		30		2003	2003	
Ⅱ	排水設備　一式	1	非致命				1.4		30		2003	2003	
Ⅱ	放送・受信設備　一式	1	非致命				0.7		30		2003	2024	
Ⅱ	天井クレーン①	1	非致命	ｷﾞﾔｰﾄﾞﾄﾛﾘ式（手動）、定格荷重：2t、揚程：22m、横行：2.5m			5.8		40		2003	2003	
Ⅱ	天井クレーン②	1	非致命	ｷﾞﾔｰﾄﾞﾄﾛﾘﾌﾞﾛｯｸﾁｪｰﾝ式ﾛｰﾍｯﾄﾞ型（手動）、定格荷重：2t、揚程：40m、走行距離：6m			3.5		40		2003	2003	
Ⅱ	天井クレーン③	1	非致命	ｷﾞﾔｰﾄﾞﾄﾛﾘﾌﾞﾛｯｸﾁｪｰﾝ式ﾛｰﾍｯﾄﾞ型（手動）、定格荷重：5t、揚程：14m、走行距離：11m			3.4		40		2003	2003	

設備及び機器	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041	2042	2043	2044	2045	2046	2047	2048	2049	2050
	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
No.1活性炭吸着塔 【B2F】																									
No.2活性炭吸着塔 【B3F】																									
No.1脱臭ファン 【B1F】								3.9																	
No.2脱臭ファン 【B1F】									3.9																
No.1乾式エアフィルタ 【B1F】								9.4																	
No.2乾式エアフィルタ 【B1F】									9.4																
床排水中継水槽 【B3F】				2.4																					
換気設備　一式（全熱交換ﾕﾆｯﾄを除く）								13.1																	
パッケージ形空気調和器（操作室）　ACP-1																				3.1					
パッケージ形空気調和器（UPS室）　ACP-2																				1.8					
パッケージ形空気調和器（工作室）　ACP-3																				1.9					
全熱交換器（操作室）　AEU-1								0.3																	
全熱交換器（工作室）　AEU-1								0.6																	
No.1エレベータ							65.0																		
No.2エレベータ							65.0																		
照明設備　一式	65.0																								
二酸化炭素消火設備											20.0														
防災設備　一式（二酸化炭素消火設備を除く）																									
衛生設備　一式　（給排水設備を除く）								1.3																	
給水設備　一式								2.0																	
排水設備　一式								1.4																	
放送・受信設備　一式																									
天井クレーン①																		5.8							
天井クレーン②																		3.5							
天井クレーン③																		3.4							

設備及び機器	2051	2052	2053	2054	2055	2056	2057	2058	2059	2060	2061	2062	2063	2064	2065	2066	2067	2068	2069	2070	2071	2072	2073	2074	2075
	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72
	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50
No.1活性炭吸着塔 【B2F】			31.6																						
No.2活性炭吸着塔 【B3F】			31.6																						
No.1脱臭ファン 【B1F】													3.9												
No.2脱臭ファン 【B1F】														3.9											
No.1乾式エアフィルタ 【B1F】													9.4												
No.2乾式エアフィルタ 【B1F】														9.4											
床排水中継水槽 【B3F】					2.4																				
換気設備　一式（全熱交換ﾕﾆｯﾄを除く）													13.1												
パッケージ形空気調和器（操作室）　ACP-1																				3.1					
パッケージ形空気調和器（UPS室）　ACP-2																				1.8					
パッケージ形空気調和器（工作室）　ACP-3																				1.9					
全熱交換器（操作室）　AEU-1													0.3												
全熱交換器（工作室）　AEU-1													0.6												
No.1エレベータ								65.0																	
No.2エレベータ								65.0																	
照明設備　一式						65.0																			
二酸化炭素消火設備																20.0									
防災設備　一式（二酸化炭素消火設備を除く）				25.3																					
衛生設備　一式　（給排水設備を除く）													1.3												
給水設備　一式													2.0												
排水設備　一式													1.4												
放送・受信設備　一式				0.7																					
天井クレーン①																									
天井クレーン②																									
天井クレーン③																									

表 中長期保全計画表(4/8)

□:整備(分解、部品交換含　□:更新

単位:百万円

	設備及び機器	設置数	致命／非致命区分	仕様	特記事項	整備費(百万円)	更新費(百万円)	整備年数(年)	標準耐用年(年)	最終整備年	設置年(年)	最終更新年(※)
今井地下調節池												
9. 受変電設備												
Ⅰ	柱上気中負荷開閉器	1	致命	3φ 3W 200V 50Hz、1φ 3W 200-100V 50Hz			1.0		15		2003	2021
Ⅰ	高圧閉鎖配電盤(引込) MC-1【2F】	1	致命	屋内自立型(高圧気中開閉器含)			13.0		30		2003	2003
Ⅰ	高圧閉鎖配電盤(受電) MC-2【2F】	1	致命	屋内自立型(高圧真空遮断器含)			24.0		30		2003	2003
Ⅰ	動力変圧器盤 TC-1【2F】	1	致命	屋内自立型			30.0		30		2003	2003
Ⅰ	動力主幹盤1 LC-1【2F】	1	致命	屋内自立型			14.0		30		2003	2003
Ⅰ	動力主幹盤2 LC-2【2F】	1	致命	屋内自立型			13.0		30		2003	2003
Ⅰ	照明主幹盤 LC-3【2F】	1	致命	屋内自立型			13.0		30		2003	2003
Ⅰ	保護継電器盤 PRB【2F】	1	致命	屋内自立型			18.0		30		2003	2003
10. 発動発電設備												
Ⅰ	発電機【1F】 (原動機、自動始動発電機盤G、消音器 含む)	1	致命	【原動機】A1A-03(ｶﾜｻｷ) ｶﾞｽﾀｰﾋﾞﾝ機関 圧縮機:遠心2段 ﾀｰﾋﾞﾝ:軸流2段 出力:250kVA 【発電機】[仕様]ｷｭｰﾋﾞｸﾙ [発電型式]ｶﾞｽﾀｰﾋﾞﾝ [発電容量]250KVA [電圧]400V 【自動始動発電機盤 G】屋内自立盤	各消音器、ﾌｧﾝ、ﾀﾞﾝﾊﾟｰ等付属品含	30.0	220.6	18	36	2022	2003	2003
Ⅰ	始動用直流電源装置盤 G-DC【1F】	1	致命	屋内自立型		0.8	15.0	9	36	2021	2003	2003
11. 無停電電源設備												
Ⅰ	無停電電源装置【3F(UPS室)】	1	致命	蓄電池盤「UPS1」、充電器盤「UPS2」、UPS装置「UPS3」、制御電源分電盤「DBC」		10.0	90.6	15	25	2018	2003	2003
12. CCTV設備												
Ⅱ	カメラ(越流堰)	1	非致命	型式:KP-D21、ﾌﾟﾘｾｯﾄ電動ｽﾞｰﾑﾚﾝｽﾞ:C14ZME-P			7.0		16	2017	2003	2017
Ⅱ	カメラ中継箱(越流堰)【屋外】	1	非致命	屋外壁掛型(架台付)			7.0		16		2003	2003
Ⅱ	ITV制御盤 ITV1(自立盤)【3F】	1	非致命	屋外自立形、映像切替器(4ch以上)、照明スイッチ付			28.0		16		2003	2003
Ⅱ	ITV監視盤(デスク&ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｰ)【3F】	1	非致命	デスク形(操作パネル、モニタ、表示器)			24.0		16		2003	2003
13. 非常警報装置												
Ⅱ	非常通報装置【現場操作盤LCBに含まれる】	1	非致命	一般電話回線通報方式			1.5		19		2007	2007
14. 監視制御設備												
Ⅰ	コントローラ盤(1) CTR-1【3F】	1	致命	屋内自立型		2.0	70.0	15	30	2017	2003	2003
Ⅰ	コントローラ盤(2) CRT-2【3F】	1	致命	屋内自立型		2.0	20.0	15	30	2017	2003	2003
Ⅰ	コントローラ盤(3) CRT-3【3F】	1	致命	屋内自立型		2.0	18.0	15	30	2017	2003	2003
Ⅰ	補助継電器盤(1)-1 ARB-1-1【2F】	1	致命	屋内自立型		0.5	24.0	15	30	2024	2003	2003
Ⅰ	補助継電器盤(1)-2 ARB-1-2【2F】	1	致命	屋内自立型		0.5	24.0	15	30	2024	2003	2003
Ⅰ	補助継電器盤(2)-1 ARB-2-1【2F】	1	致命	屋内自立型		0.5	24.0	15	30	2024	2003	2003
Ⅰ	補助継電器盤(2)-2 ARB-2-2【2F】	1	致命	屋内自立型		0.5	24.0	15	30	2024	2003	2003
Ⅰ	計装制御盤 ICB【3F】	1	致命	屋内自立型		2.0	18.0	15	30		2003	2003
Ⅰ	現場操作盤 LCB【3F】	1	致命	屋内自立型		0.5	30.0	15	30		2003	2003
Ⅰ	監視制御システム1 CD1【3F】	1	致命	屋内自立型		3.0	90.0	15	30	2020	2003	2003

設備及び機器	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041	2042	2043	2044	2045	2046	2047	2048	2049	2050
	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
柱上気中負荷開閉器											1.0														
高圧閉鎖配電盤(引込) MC-1【2F】	0.8																								
高圧閉鎖配電盤(受電) MC-2【2F】	7.1																								
動力変圧器盤 TC-1【2F】	0.5																								
動力主幹盤1 LC-1【2F】	7.4																								
動力主幹盤2 LC-2【2F】	3.8																								
照明主幹盤 LC-3【2F】	2.0																								
保護継電器盤 PRB【2F】	3.1																								
発電機【1F】														88.2	132.4										
始動用直流電源装置盤 G-DC【1F】					0.8									6.0	9.0									0.8	
無停電電源装置【3F(UPS室)】			36.2	54.4															###						
カメラ(越流堰)														7.0											
カメラ中継箱(越流堰)【屋外】														7.0											
ITV制御盤 ITV1(自立盤)【3F】														28.0											
ITV監視盤(デスク&ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｰ)【3F】														24.0											
非常通報装置【現場操作盤LCBに含まれる】		1.5																						1.5	
コントローラ盤(1) CTR-1【3F】	7.9																2.0								
コントローラ盤(2) CRT-2【3F】	12.9																2.0								
コントローラ盤(3) CRT-3【3F】	6.7																2.0								
補助継電器盤(1)-1 ARB-1-1【2F】														0.5											
補助継電器盤(1)-2 ARB-1-2【2F】														0.5											
補助継電器盤(2)-1 ARB-2-1【2F】														0.5											
補助継電器盤(2)-2 ARB-2-2【2F】														0.5											
計装制御盤 ICB【3F】	18.1																2.0								
現場操作盤 LCB【3F】	7.7																0.5								
監視制御システム1 CD1【3F】								27.0	27.0	36.0															3.0

設備及び機器	2051	2052	2053	2054	2055	2056	2057	2058	2059	2060	2061	2062	2063	2064	2065	2066	2067	2068	2069	2070	2071	2072	2073	2074	2075	備考
	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	
	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	
柱上気中負荷開閉器	1.0															1.0										
高圧閉鎖配電盤(引込) MC-1【2F】						13.0																				
高圧閉鎖配電盤(受電) MC-2【2F】						24.0																				
動力変圧器盤 TC-1【2F】						30.0																				
動力主幹盤1 LC-1【2F】						14.0																				
動力主幹盤2 LC-2【2F】						13.0																				
照明主幹盤 LC-3【2F】						13.0																				
保護継電器盤 PRB【2F】						18.0																				
発電機【1F】								###																	110.3	
始動用直流電源装置盤 G-DC【1F】								0.8									0.8								7.5	
無停電電源装置【3F(UPS室)】				36.2	54.4															10						
カメラ(越流堰)					7.0																7.0					
カメラ中継箱(越流堰)【屋外】					7.0																7.0					
ITV制御盤 ITV1(自立盤)【3F】					28.0																28.0					
ITV監視盤(デスク&ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｰ)【3F】					24.0																24.0					
非常通報装置【現場操作盤LCBに含まれる】																		1.5								
コントローラ盤(1) CTR-1【3F】						→	21.0	21.0	28.0															2.0		
コントローラ盤(2) CRT-2【3F】						→	6.0	6.0	8.0															2.0		
コントローラ盤(3) CRT-3【3F】						→	5.4	5.4	7.2															2.0		
補助継電器盤(1)-1 ARB-1-1【2F】				7.2	7.2	9.6															0.5					
補助継電器盤(1)-2 ARB-1-2【2F】				7.2	7.2	9.6															0.5					
補助継電器盤(2)-1 ARB-2-1【2F】				7.2	7.2	9.6															0.5					
補助継電器盤(2)-2 ARB-2-2【2F】				7.2	7.2	9.6															0.5					
計装制御盤 ICB【3F】						→	5.4	5.4	7.2															2.0		
現場操作盤 LCB【3F】						→	9.0	9.0	12.0															0.5		
監視制御システム1 CD1【3F】																		27.0	27.0	36.0						

表 中長期保全計画表(5/8)

□:整備(分解、部品交換含　□:更新

単位:百万円

	設備及び機器	設置数	致命／非致命区分	仕様	特記事項	整備費(百万円)	更新費(百万円)	整備年数(年)	標準耐用年(年)	最終整備年	設置年(年)	最終更新年(※)	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041	2042	2043	2044	2045	2046	2047	2048	2049	2050	2051	2052	2053	2054	2055	2056	2057	2058	2059	2060	2061	2062	2063	2064	2065	2066	2067	2068	2069	2070	2071	2072	2073	2074	2075	備考
今井地下調節池																																																															
													23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	
													1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	
I	監視制御システム盤(デスク&PC)	1	致命			5.0	50.0	8	30	2020	2003	2003								15.0	15.0	20.0								5.0								5.0								5.0									15.0	15.0	20.0						
I	監視端末装置 DS【維持管理用】	1	致命			3.0	12.0	8	30	2020	2003	2003								3.6	3.6	4.8								3.0								3.0								3.0									3.6	3.6	4.8						
I	監視端末装置 CD【遠方監視用】	1	致命			3.0	14.0	8	30	2020	2003	2003								4.2	4.2	5.6								3.0								3.0								3.0									4.2	4.2	5.6						
15. 負荷設備																																																															
I	接地端子箱 ETB-1【2F】	1	致命	屋内壁掛型			0.3		30		2003	2003								0.3																															0.3												
I	中継端子盤(1)-1 TB-1-1【2F】	1	致命	屋内自立型			3.0		30		2003	2003									0.9	0.9	1.2																																1.0	1.0	1.0							
I	中継端子盤(1)-2 TB-1-2【2F】	1	致命	屋内自立型			3.0		30		2003	2003									0.9	0.9	1.2																																1.0	1.0	1.0							
I	中継端子盤(2) TB-2【2F】	1	致命	屋内自立型			3.0		30		2003	2003									0.9	0.9	1.2																																1.0	1.0	1.0							
I	コントロールセンタ(1) CC-1-1【2F】	1	致命	屋内自立型			14.0		30		2003	2003	1.2																														4.2	4.2	5.6																			
I	コントロールセンタ(2) CC-1-2【2F】	1	致命	屋内自立型			14.0		30		2003	2003	1.0																														4.2	4.2	5.6																			
I	コントロールセンタ(3) CC-1-3【2F】	1	致命	屋内自立型、テレメータ装置含む			14.0		30		2003	2003	1.0																														4.2	4.2	5.6																			
I	コントロールセンタ(4) CC-1-4【2F】	1	致命	屋内自立型			14.0		30		2003	2003	2.0																														4.2	4.2	5.6																			
I	コントロールセンタ(5) CC-2-1【2F】	1	致命	屋内自立型			14.0		30		2003	2003	0.9																														4.2	4.2	5.6																			
I	コントロールセンタ(6) CC-2-2【2F】	1	致命	屋内自立型			14.0		30		2003	2003	1.7																														4.2	4.2	5.6																			
I	コントロールセンタ(7) CC-3-1【2F】	1	致命	屋内自立型			14.0		30		2003	2003	0.9																														4.2	4.2	5.6																			
I	コントロールセンタ(8) CC-3-2【2F】	1	致命	屋内自立型			14.0		30		2003	2003	0.3																														4.2	4.2	5.6																			
I	コントロールセンタ(9) CC-3-3【2F】	1	致命	屋内自立型			14.0		30		2003	2003	0.5																														4.2	4.2	5.6																			
I	コントロールセンタ(9) CC-3-4【3F】	2	致命	屋内自立型			14.0		30		2003	2003	0.5																														4.2	4.2	5.6																			
II	分電盤 M-1	1	非致命	屋内自立型			2.6		30		2003	2003													2.6																														2.6								
II	照明分電盤 L-1	1	非致命	屋内自立型			2.4		30		2003	2003													2.4																														2.4								
II	照明分電盤 L-2	1	非致命	屋内自立型			2.3		30		2003	2003													2.3																														2.3								
II	照明分電盤 L-3	1	非致命	屋内自立型			3.1		30		2003	2003													3.1																														3.1								
II	端子盤(電話設備) T-B1	1	非致命	屋内自立型			0.6		30		2003	2003											0.6																																0.6								
II	端子盤(電話設備) T-B2	1	非致命	屋内自立型			0.4		30		2003	2003											0.4																																0.4								
II	端子盤(電話設備) T-B3	1	非致命	屋内自立型			0.4		30		2003	2003											0.4																																0.4								
II	端子盤(電話設備) T-B4	1	非致命	屋内自立型			0.3		30		2003	2003											0.3																																0.3								
II	端子盤(電話設備) T-B5	1	非致命	屋内自立型			0.3		30		2003	2003											0.3																																0.3								
II	端子盤(電話設備) T-B6	1	非致命	屋内自立型			0.3		30		2003	2003											0.3																																0.3								

表　中長期保全計画表(6/8)

□:整備(分解、部品交換含　□:更新

単位:百万円

今井地下調節池

	設備及び機器	設置数	致命／非致命区分	仕様	特記事項	整備費（百万円）	更新費（百万円）	整備年数（年）	標準耐用年（年）	最終整備年	設置年（年）	最終更新年(※)
Ⅱ	端子盤(電話設備) T-1	1	非致命	屋内自立型			0.7		30		2003	2003
Ⅱ	端子盤(電話設備) T-2	1	非致命	屋内自立型			0.7		30		2003	2003
Ⅱ	端子盤(電話設備) T-3	1	非致命	屋内自立型			0.7		30		2003	2003
Ⅱ	作業用電源盤1A SS-1A 【B1F】	1	非致命	屋内壁掛型、100V、200V			2.0		30		2003	2003
Ⅱ	作業用電源盤1B SS-1B 【B2F】	1	非致命	屋内壁掛型、100V、200V			2.0		30		2003	2003
Ⅱ	作業用電源盤1C SS-1C 【B3F】	1	非致命	屋内壁掛型、100V、200V			2.0		30		2003	2003
Ⅱ	作業用電源盤1D SS-1D 【B4F】	1	非致命	屋内壁掛型、100V、200V			2.0		30		2003	2003
Ⅱ	作業用電源盤1E SS-1E 【B5F】	1	非致命	屋内壁掛型、100V、200V			2.0		30		2003	2003
Ⅱ	作業用電源盤1F SS-1F 【B6F】	1	非致命	屋内壁掛型、100V、200V			2.0		30	2014	2003	2003
Ⅱ	作業用電源盤2 SS-2 【屋外】	1	非致命	屋外壁掛型、100V、200V			3.0		30		2003	2003
Ⅱ	作業用電源盤3 SS-4 【沈砂池上部】	1	非致命	屋外壁掛型、100V、200V			3.0		30		2003	2003
Ⅱ	No.1オートリフター操作盤・電灯分電盤 L-B1 【B1F】	1	非致命	屋内壁掛型、200V			2.3		30		2003	2003
Ⅱ	No.2オートリフター操作盤・電灯分電盤 L-B2 【B2F】	1	非致命	屋内壁掛型、200V			1.9		30		2003	2003
Ⅱ	No.3オートリフター操作盤・電灯分電盤 L-B3 【B3F】	1	非致命	屋内壁掛型、200V			1.9		30		2003	2003
Ⅱ	No.4オートリフター操作盤・電灯分電盤 L-B4 【B4F】	1	非致命	屋内壁掛型、200V			1.9		30		2003	2003
Ⅱ	No.5オートリフター操作盤・電灯分電盤 L-B5 【B5F】	1	非致命	屋内壁掛型、200V			1.9		30		2003	2003
Ⅱ	No.6オートリフター操作盤・電灯分電盤 L-B6 【B6F】	1	非致命	屋内壁掛型、200V			1.8		30	2014	2003	2003
16. 機側操作設備												
Ⅰ	流入ゲート現場盤 【沈砂池上部】	1	致命	屋内自立型、100V			8.0		30		2003	2003
Ⅰ	主ポンプ機側盤 LB-01 【B5F】	1	致命	屋内自立型、100V			8.0		30		2003	2003
Ⅰ	燃料移送ポンプ機側盤 LB-101 【1F】	1	致命	屋内壁掛型、100V			2.0		30		2003	2003
Ⅰ	返油・排油ポンプ機側盤 LB-102 【B6F】	1	致命	屋内スタンド型、100V			4.0		30	2014	2003	2003
Ⅰ	原動機室給気ファン機側盤 LB-103 【B4F】	1	致命	屋内スタンド型、100V			3.5		30		2003	2003
Ⅰ	原動機室排気ﾌｧﾝ/ﾊﾟｯｹｰｼﾞ排気ﾌｧﾝ/ﾊﾟｯｹｰｼﾞﾌｧﾝ機側盤 LB-104 【B5F】	1	致命	屋内壁掛型、100V			3.0		30		2003	2003
Ⅰ	放流ゲート機側盤 LB-105 【屋外】	1	致命	屋内スタンド型、100V			5.0		30		2003	2003
Ⅰ	脱臭ファン機側盤 LB-106 【B1F】	1	致命	屋内スタンド型、100V			4.0		30		2003	2003
Ⅰ	主ポンプ電動吐出弁機側盤 LB-107 【B6F】	1	致命	屋内スタンド型、100V			4.0		30		2003	2003
Ⅰ	床排水ポンプ機側盤 LB-202 【B6F】	1	致命	屋内スタンド型、100V			4.0		30	2014	2003	2003
Ⅰ	床排水中継ポンプ機側盤 LB-204 【B3F】	1	致命	屋内スタンド型、100V			4.0		30		2003	2003

設備及び機器	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041	2042	2043	2044	2045	2046	2047	2048	2049	2050
	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
端子盤(電話設備) T-1											0.7														
端子盤(電話設備) T-2											0.7														
端子盤(電話設備) T-3											0.7														
作業用電源盤1A SS-1A 【B1F】											2.0														
作業用電源盤1B SS-1B 【B2F】											2.0														
作業用電源盤1C SS-1C 【B3F】											2.0														
作業用電源盤1D SS-1D 【B4F】											2.0														
作業用電源盤1E SS-1E 【B5F】											2.0														
作業用電源盤1F SS-1F 【B6F】											2.0														
作業用電源盤2 SS-2 【屋外】											3.0														
作業用電源盤3 SS-4 【沈砂池上部】											3.0														
No.1オートリフター操作盤・電灯分電盤 L-B1 【B1F】												2.3													
No.2オートリフター操作盤・電灯分電盤 L-B2 【B2F】												1.9													
No.3オートリフター操作盤・電灯分電盤 L-B3 【B3F】												1.9													
No.4オートリフター操作盤・電灯分電盤 L-B4 【B4F】												1.9													
No.5オートリフター操作盤・電灯分電盤 L-B5 【B5F】												1.9													
No.6オートリフター操作盤・電灯分電盤 L-B6 【B6F】												1.8													
16. 機側操作設備																									
流入ゲート現場盤 【沈砂池上部】												8.0													
主ポンプ機側盤 LB-01 【B5F】												8.0													
燃料移送ポンプ機側盤 LB-101 【1F】												2.0													
返油・排油ポンプ機側盤 LB-102 【B6F】												4.0													
原動機室給気ファン機側盤 LB-103 【B4F】												3.5													
原動機室排気ﾌｧﾝ/ﾊﾟｯｹｰｼﾞ排気ﾌｧﾝ/ﾊﾟｯｹｰｼﾞﾌｧﾝ機側盤 LB-104 【B5F】												3.0													
放流ゲート機側盤 LB-105 【屋外】												5.0													
脱臭ファン機側盤 LB-106 【B1F】												4.0													
主ポンプ電動吐出弁機側盤 LB-107 【B6F】												4.0													
床排水ポンプ機側盤 LB-202 【B6F】												4.0													
床排水中継ポンプ機側盤 LB-204 【B3F】												4.0													

設備及び機器	2051	2052	2053	2054	2055	2056	2057	2058	2059	2060	2061	2062	2063	2064	2065	2066	2067	2068	2069	2070	2071	2072	2073	2074	2075	備考
	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	
	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	
端子盤(電話設備) T-1																	0.7									
端子盤(電話設備) T-2																	0.7									
端子盤(電話設備) T-3																	0.7									
作業用電源盤1A SS-1A 【B1F】																	2.0									
作業用電源盤1B SS-1B 【B2F】																	2.0									
作業用電源盤1C SS-1C 【B3F】																	2.0									
作業用電源盤1D SS-1D 【B4F】																	2.0									
作業用電源盤1E SS-1E 【B5F】																	2.0									
作業用電源盤1F SS-1F 【B6F】																	2.0									
作業用電源盤2 SS-2 【屋外】																	3.0									
作業用電源盤3 SS-4 【沈砂池上部】																	3.0									
No.1オートリフター操作盤・電灯分電盤 L-B1 【B1F】																	2.3									
No.2オートリフター操作盤・電灯分電盤 L-B2 【B2F】																	1.9									
No.3オートリフター操作盤・電灯分電盤 L-B3 【B3F】																	1.9									
No.4オートリフター操作盤・電灯分電盤 L-B4 【B4F】																	1.9									
No.5オートリフター操作盤・電灯分電盤 L-B5 【B5F】																	1.9									
No.6オートリフター操作盤・電灯分電盤 L-B6 【B6F】																	1.8									
16. 機側操作設備																										
流入ゲート現場盤 【沈砂池上部】																	8.0									
主ポンプ機側盤 LB-01 【B5F】																	8.0									
燃料移送ポンプ機側盤 LB-101 【1F】																	2.0									
返油・排油ポンプ機側盤 LB-102 【B6F】																	4.0									
原動機室給気ファン機側盤 LB-103 【B4F】																	3.5									
原動機室排気ﾌｧﾝ/ﾊﾟｯｹｰｼﾞ排気ﾌｧﾝ/ﾊﾟｯｹｰｼﾞﾌｧﾝ機側盤 LB-104 【B5F】																	3.0									
放流ゲート機側盤 LB-105 【屋外】																	5.0									
脱臭ファン機側盤 LB-106 【B1F】																	4.0									
主ポンプ電動吐出弁機側盤 LB-107 【B6F】																	4.0									
床排水ポンプ機側盤 LB-202 【B6F】																	4.0									
床排水中継ポンプ機側盤 LB-204 【B3F】																	4.0									

表　中長期保全計画表(7/8)

□:整備(分解、部品交換含　□:更新

単位:百万円

設備及び機器		設置数	致命／非致命区分	仕様	特記事項	整備費（百万円）	更新費（百万円）	整備年数（年）	標準耐用年（年）	最終整備年	設置年（年）	最終更新年(※)
今井地下調節池												
Ⅰ	No.1･2･8送風機機側盤 LB-301 【B4F】	1	致命	屋内壁掛型、100V			3.0		30		2003	2003
Ⅰ	No.1･2排風機機側盤 LB-302 【B4F】	1	致命	屋内壁掛型、100V			2.5		30		2003	2003
Ⅰ	No3送排風機機側盤 LB-303 【B3F】	1	致命	屋内壁掛型、100V			2.0		30		2003	2003
Ⅰ	No4送排風機機側盤 LB-304 【B2F】	1	致命	屋内壁掛型、100V			2.0		30		2003	2003
Ⅰ	No5･9送風機/No.5･8排風機機側盤 LB-305 【B1F】	1	致命	屋内壁掛型、100V			3.5		30		2003	2003
Ⅰ	No6送排風機機側盤 LB-306 【1F】	1	致命	屋内壁掛型、100V			2.0		30		2003	2003
Ⅰ	No7送風機機側盤 LB-307 【2F】	1	致命	屋内壁掛型、100V			2.0		30		2003	2003
Ⅰ	No7排風機機側盤 LB-308 【2F】	1	致命	屋内壁掛型、100V			2.0		30		2003	2003
Ⅰ	廃油ポンプ機側盤 LB-309 【屋外】	1	致命	屋外スタンド型、100V			5.0		30		2003	2003
Ⅰ	沈砂池排水ポンプ機側盤 LB-401 【沈砂池上部】	1	致命	屋外スタンド型、100V			5.0		30		2003	2003
Ⅰ	排泥ポンプ機側盤 LB-501 【B6F】	1	致命	屋内スタンド型、100V			4.0		30	2014	2003	2003
17. 計装設備												
Ⅰ	雨量計 【屋上】	1	致命	転倒ます式			5.0		15		2003	2003
Ⅰ	水位計(今井川上流)	1	致命	形式:超音波式			4.0		15		2003	2018
Ⅰ	水位計(今井川下流)	1	致命	形式:超音波式			4.0		15		2003	2022
Ⅰ	水位計(沈砂池)	1	致命	形式:投込圧力式			2.5		15		2003	2023
Ⅰ	水位計(地下調節池)(1)	1	致命	形式:投込圧力式			2.5		15		2001	2023
Ⅱ	水位計(地下調節池)(2)	1	非致命	形式:圧力式			2.2		15	2014	2003	2014
Ⅱ	No.1地下タンク油面計	1	非致命				3.0		15		2003	2003
Ⅱ	No.2地下タンク油面計	1	非致命				3.0		15		2003	2003

設備及び機器	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041	2042	2043	2044	2045	2046	2047	2048	2049	2050	2051	2052	2053	2054	2055	2056	2057	2058	2059	2060	2061	2062	2063	2064	2065	2066	2067	2068	2069	2070	2071	2072	2073	2074	2075	備考
	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	
No.1･2･8送風機機側盤 LB-301 【B4F】								3.0																														3.0													
No.1･2排風機機側盤 LB-302 【B4F】								2.5																														2.5													
No3送排風機機側盤 LB-303 【B3F】								2.0																														2.0													
No4送排風機機側盤 LB-304 【B2F】								2.0																														2.0													
No5･9送風機/No.5･8排風機機側盤 LB-305 【B1F】								3.5																														3.5													
No6送排風機機側盤 LB-306 【1F】								2.0																														2.0													
No7送風機機側盤 LB-307 【2F】								2.0																														2.0													
No7排風機機側盤 LB-308 【2F】								2.0																														2.0													
廃油ポンプ機側盤 LB-309 【屋外】								5.0																														5.0													
沈砂池排水ポンプ機側盤 LB-401 【沈砂池上部】								5.0																														5.0													
排泥ポンプ機側盤 LB-501 【B6F】								4.0																														4.0													
17. 計装設備																																																			
雨量計 【屋上】		5.0															5.0															5.0															5.0				
水位計(今井川上流)												4.0																4.0															4.0								
水位計(今井川下流)												4.0																4.0															4.0								
水位計(沈砂池)													2.5															2.5															2.5								
水位計(地下調節池)(1)													2.5															2.5															2.5								
水位計(地下調節池)(2)				2.2															2.2															2.2															2.2		
No.1地下タンク油面計			3.0																3.0																3.0																
No.2地下タンク油面計			3.0																3.0																3.0																

表　中長期保全計画表(8/8)

□:整備(分解、部品交換含　□:更新

単位:百万円

設備及び機器	設置数	致命／非致命区分	仕様	特記事項	整備費(百万円)	更新費(百万円)	整備年数(年)	標準耐用年(年)	最終整備年	設置年(年)	最終更新年(※)	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041	2042	2043	2044	2045	2046	2047	2048	2049	2050
今井地下調節池																																				
												23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47
												1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
18. 委託費(保守点検、操作等)																																				
v 運転管理委託												6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0
v 発電設備保守点検業務委託			年点検									2.0	2.0	12.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.6	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.6	2.0	2.0	2.0	2.0
v 原動機設備保守点検業務委託			年点検									1.0	1.0	1.0	1.0	2.9	1.0	1.0	1.0	1.0	18.0	1.0	1.0	1.0	1.0	2.9	1.0	1.0	1.0	1.0	18.0	1.0	1.0	1.0	1.0	2.9
v 地下タンク点検委託			年点検									0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
v 防災設備保守点検業務委託												0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
v エレベータ設備保守点検業務委託												1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7
19. 燃料費 + 物品費																																				
v 燃料費												6.1	6.1	6.1	6.1	6.1	6.1	6.1	6.1	6.1	6.1	6.1	6.1	6.1	6.1	6.1	6.1	6.1	6.1	6.1	6.1	6.1	6.1	6.1	6.1	6.1
v 物品費												0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
20. 公共料金等																																				
v 光熱水費、通信費等												3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9
i 設備更新費の年度合計(致命)【Ⅰ】												88.0	5.0	36.2	54.4	0.0	0.0	0.0	83.1	52.5	69.1	19.0	57.5	5.0	96.3	141.4	0.0	5.0	140.9	127.6	74.0	111.1	21.0	81.6	21.0	81.6
累積												88.0	93.0	129.2	183.6	183.6	183.6	183.6	266.7	319.2	388.3	407.3	464.8	469.8	566.1	707.5	707.5	712.5	853.4	981.0	1055.0	1166.1	1187.1	1268.7	1289.7	1371.3
ii 設備更新費の年度合計(非致命)【Ⅱ】												65.0	37.5	6.0	4.6	0.0	0.0	130.0	34.4	33.3	0.0	42.4	11.7	10.4	66.6	0.0	0.0	0.0	14.3	8.2	6.8	0.0	0.0	0.0	37.5	0.0
累積												65.0	102.5	108.5	113.1	113.1	113.1	243.1	277.5	310.8	310.8	353.2	364.9	375.3	441.9	441.9	441.9	441.9	456.2	464.4	471.2	471.2	471.2	471.2	508.7	508.7
iii 設備整備費の年度合計(致命)【Ⅰ】												0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	47.4	42.4	0.0	0.0	133.2	24.4	26.3	28.3	0.0	0.0	8.5	24.8	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	3.0
累積												0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.8	48.2	90.6	90.6	90.6	223.8	248.2	274.5	302.8	302.8	302.8	311.3	336.1	346.1	346.1	346.1	346.1	346.1	346.9	349.9
iv 設備整備費の年度合計(非致命)【Ⅱ】												0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
累積												0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
長寿命化事業 交付対象												91.0	8.0	49.2	57.4	5.7	3.0	50.4	128.5	56.1	89.1	155.2	84.9	34.3	127.6	146.3	3.0	16.5	168.7	140.6	94.0	114.7	24.0	84.6	24.8	89.5
												91.0	99.0	148.2	205.6	211.3	214.3	264.7	393.2	449.3	538.4	693.6	778.5	812.8	940.4	1086.7	1089.7	1106.2	1274.9	1415.5	1509.5	1624.2	1648.2	1732.8	1757.6	1847.1
長寿命化事業 交付対象外												65.0	37.5	6.0	4.6	0.0	0.0	130.0	34.4	33.3	0.0	42.4	11.7	10.4	66.6	0.0	0.0	0.0	14.3	8.2	6.8	0.0	0.0	0.0	37.5	0.0
												65.0	102.5	108.5	113.1	113.1	113.1	243.1	277.5	310.8	310.8	353.2	364.9	375.3	441.9	441.9	441.9	441.9	456.2	464.4	471.2	471.2	471.2	471.2	508.7	508.7
維持事業 交付対象外												18.6	18.6	18.6	18.6	18.6	18.6	18.6	18.6	18.6	18.6	18.6	18.6	18.6	18.6	18.6	18.6	18.6	18.6	18.6	18.6	18.6	18.6	18.6	18.6	18.6
												18.6	37.2	55.8	74.4	93.0	111.6	130.2	148.8	167.4	186.0	204.6	223.2	241.8	260.4	279.0	297.6	316.2	334.8	353.4	372.0	390.6	409.2	427.8	446.4	465.0
交付対象の合計												91.0	8.0	49.2	57.4	5.7	3.0	50.4	128.5	56.1	89.1	155.2	84.9	34.3	127.6	146.3	3.0	16.5	168.7	140.6	94.0	114.7	24.0	84.6	24.8	89.5
												91.0	99.0	148.2	205.6	211.3	214.3	264.7	393.2	449.3	538.4	693.6	778.5	812.8	940.4	1086.7	1089.7	1106.2	1274.9	1415.5	1509.5	1624.2	1648.2	1732.8	1757.6	1847.1
交付対象外の合計												83.6	56.1	24.6	23.2	18.6	18.6	148.6	53.0	51.9	18.6	61.0	30.3	29.0	85.2	18.6	18.6	18.6	32.9	26.8	25.4	18.6	18.6	18.6	56.1	18.6
												83.6	139.7	164.3	187.5	206.1	224.7	373.3	426.3	478.2	496.8	557.8	588.1	617.1	702.3	720.9	739.5	758.1	791.0	817.8	843.2	861.8	880.4	899.0	955.1	973.7
合計												174.6	64.1	73.8	80.6	24.3	21.6	199.0	181.5	108.0	107.7	216.2	115.2	63.3	212.8	164.9	21.6	35.1	201.6	167.4	119.4	133.3	42.6	103.2	80.9	108.1
												174.6	238.7	312.5	393.1	417.4	439.0	638.0	819.5	927.5	1035.2	1251.4	1366.6	1429.9	1642.7	1807.6	1829.2	1864.3	2065.9	2233.3	2352.7	2486.0	2528.6	2631.8	2712.7	2820.8

設備及び機器	2051	2052	2053	2054	2055	2056	2057	2058	2059	2060	2061	2062	2063	2064	2065	2066	2067	2068	2069	2070	2071	2072	2073	2074	2075	備考
今井地下調節池																										
	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	
	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	
18. 委託費(保守点検、操作等)																										
v 運転管理委託	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	
v 発電設備保守点検業務委託	2.0	12.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.6	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	12.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.6	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	
v 原動機設備保守点検業務委託	1.0	1.0	1.0	1.0	18.0	1.0	1.0	1.0	1.0	2.9	1.0	1.0	1.0	1.0	18.0	1.0	1.0	1.0	1.0	2.9	1.0	1.0	1.0	1.0	18.0	
v 地下タンク点検委託	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	
v 防災設備保守点検業務委託	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	
v エレベータ設備保守点検業務委託	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	
19. 燃料費 + 物品費																										
v 燃料費	6.1	6.1	6.1	6.1	6.1	6.1	6.1	6.1	6.1	6.1	6.1	6.1	6.1	6.1	6.1	6.1	6.1	6.1	6.1	6.1	6.1	6.1	6.1	6.1	6.1	
v 物品費	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	
20. 公共料金等																										
v 光熱水費、通信費等	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	
i 設備更新費の年度合計(致命)【Ⅰ】	1.0	16.0	13.0	65.0	83.2	205.4	93.8	102.8	62.4	0.0	83.2	83.2	59.3	0.0	0.0	1.0	52.5	65.8	67.2	66.4	0.0	5.0	0.0	0.0	119.9	
累積	1372.3	1388.3	1401.3	1466.3	1549.5	1754.9	1848.7	1951.5	2013.9	2013.9	2097.1	2180.3	2239.6	2239.6	2239.6	2240.6	2293.1	2358.9	2426.1	2492.5	2492.5	2497.5	2497.5	2497.5	2617.4	
ii 設備更新費の年度合計(非致命)【Ⅱ】	0.0	0.0	63.2	26.0	70.8	65.0	0.6	130.0	2.2	6.0	0.0	0.0	33.6	13.3	20.0	20.0	44.5	1.5	0.0	6.8	102.0	0.0	0.0	2.2	0.6	
累積	508.7	508.7	571.9	597.9	668.7	733.7	734.3	864.3	866.5	872.5	872.5	872.5	906.1	919.4	939.4	959.4	1003.9	1005.4	1005.4	1012.2	1114.2	1114.2	1114.2	1116.4	1117.0	
iii 設備整備費の年度合計(致命)【Ⅰ】	11.0	0.0	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	30.8	11.0	0.0	0.0	5.0	0.0	20.0	42.4	46.3	43.2	26.3	0.0	10.0	7.0	0.0	0.0	8.5	0.0	
累積	360.9	360.9	365.9	365.9	365.9	365.9	365.9	396.7	407.7	407.7	407.7	412.7	412.7	432.7	475.1	521.4	564.6	590.9	590.9	600.9	607.9	607.9	607.9	616.4	616.4	
iv 設備整備費の年度合計(非致命)【Ⅱ】	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
累積	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
長寿命化事業 交付対象	15.0	29.0	21.0	68.0	103.2	208.4	96.8	137.2	76.4	4.9	86.2	91.2	62.3	33.0	62.4	50.3	98.7	95.1	70.2	81.9	10.0	8.0	3.0	11.5	139.9	
	1862.1	1891.1	1912.1	1980.1	2083.3	2291.7	2388.5	2525.7	2602.1	2607.0	2693.2	2784.4	2846.7	2879.7	2942.1	2992.4	3091.1	3186.2	3256.4	3338.3	3348.3	3356.3	3359.3	3370.8	3510.7	
長寿命化事業 交付対象外	0.0	0.0	63.2	26.0	70.8	65.0	0.6	130.0	2.2	6.0	0.0	0.0	33.6	13.3	20.0	20.0	44.5	1.5	0.0	6.8	102.0	0.0	0.0	2.2	0.6	
	508.7	508.7	571.9	597.9	668.7	733.7	734.3	864.3	866.5	872.5	872.5	872.5	906.1	919.4	939.4	959.4	1003.9	1005.4	1005.4	1012.2	1114.2	1114.2	1114.2	1116.4	1117.0	
維持事業 交付対象外	18.6	18.6	18.6	18.6	18.6	18.6	18.6	18.6	18.6	18.6	18.6	18.6	18.6	18.6	18.6	18.6	18.6	18.6	18.6	18.6	18.6	18.6	18.6	18.6	18.6	
	483.6	502.2	520.8	539.4	558.0	576.6	595.2	613.8	632.4	651.0	669.6	688.2	706.8	725.4	744.0	762.6	781.2	799.8	818.4	837.0	855.6	874.2	892.8	911.4	930.0	
交付対象の合計	15.0	29.0	21.0	68.0	103.2	208.4	96.8	137.2	76.4	4.9	86.2	91.2	62.3	33.0	62.4	50.3	98.7	95.1	70.2	81.9	10.0	8.0	3.0	11.5	139.9	
	1862.1	1891.1	1912.1	1980.1	2083.3	2291.7	2388.5	2525.7	2602.1	2607.0	2693.2	2784.4	2846.7	2879.7	2942.1	2992.4	3091.1	3186.2	3256.4	3338.3	3348.3	3356.3	3359.3	3370.8	3510.7	
交付対象外の合計	18.6	18.6	81.8	44.6	89.4	83.6	19.2	148.6	20.8	24.6	18.6	18.6	52.2	31.9	38.6	38.6	63.1	20.1	18.6	25.4	120.6	18.6	18.6	20.8	19.2	
	992.3	1010.9	1092.7	1137.3	1226.7	1310.3	1329.5	1478.1	1498.9	1523.5	1542.1	1560.7	1612.9	1644.8	1683.4	1722.0	1785.1	1805.2	1823.8	1849.2	1969.8	1988.4	2007.0	2027.8	2047.0	
合計	33.6	47.6	102.8	112.6	192.6	292.0	116.0	285.8	97.2	29.5	104.8	109.8	114.5	64.9	101.0	88.9	161.8	115.2	88.8	107.3	130.6	26.6	21.6	32.3	159.1	
	2854.4	2902.0	3004.8	3117.4	3310.0	3602.0	3718.0	4003.8	4101.0	4130.5	4235.3	4345.1	4459.6	4524.5	4625.5	4714.4	4876.2	4991.4	5080.2	5187.5	5318.1	5344.7	5366.3	5398.6	5557.7	

【参考資料】

1. 機機械設備　総合評価（整備・更新の優先度）

1−1 設備区分レベル判定

本施設は住民の生命・財産を守る治水設備であることから、「レベルⅠ」に区分する。

表−1.1 設備区分レベル

設備区分	内　容	
レベルⅠ 高	設備が故障し機能を失った場合、国民の生命・財産ならびに社会経済活動に重大な影響を及ぼす恐れのある設備	治水設備および 治水要素のある利水設備
レベルⅡ 中	設備が故障し機能を失った場合、国民の財産ならびに社会経済活動に重大な影響を及ぼす恐れのある設備	利水設備
レベルⅢ 低	設備が故障し機能を失った場合、社会経済活動には影響を及ぼす恐れの少ない設備	水質保全設備

1−2 機器の特性

各機器の保全方式は、致命的／非致命的の区分、故障予知・傾向管理の可否を考慮し、下表に示すとおり適用した。

表-1.2　保全方式の適用

致命的機器・部品	故障予知・傾向管理	適した保全方式
○：該当	○：可能	状態監視保全＋時間計画保全
○：該当	×：不可	時間計画保全
×：該当せず	○：可能	通常事後保全＋状態監視保全
×：該当せず	×：不可	通常事後保全

1−3 点検・診断による健全度評価

点検結果により機器毎の健全度評価を実施した。評価区分・内容を下表に示す。

表-1.3　健全度評価と内容

<table>
<tr><th colspan="2">健全度評価</th><th>評価内容</th></tr>
<tr><td colspan="2">×
（措置段階）</td><td>緊急に対応（取替、更新、整備）が必要。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">△</td><td>△1
（予防保全段階）</td><td>設備・装置・機器・部品の機能に支障が生じる可能性があり、予防保全の観点から早急に措置を行うべき状態。</td></tr>
<tr><td>△2
（予防保全計画段階）</td><td>設備・装置・機器・部品の機能に支障が生じていないが、2～3 年以内に措置を行うことが望ましい状態。</td></tr>
<tr><td>△3
（要監視段階）</td><td>設備・装置・機器・部品の機能に支障が生じていないが、状態の経過観察が必要な状態。</td></tr>
<tr><td colspan="2">○
（健全）</td><td>設備・装置・機器・部品の機能に支障が生じていない状態。</td></tr>
</table>

1−4 設置条件評価

機器がおかれる状況（環境条件）、運転頻度（使用条件）を考慮し、評価を実施した。

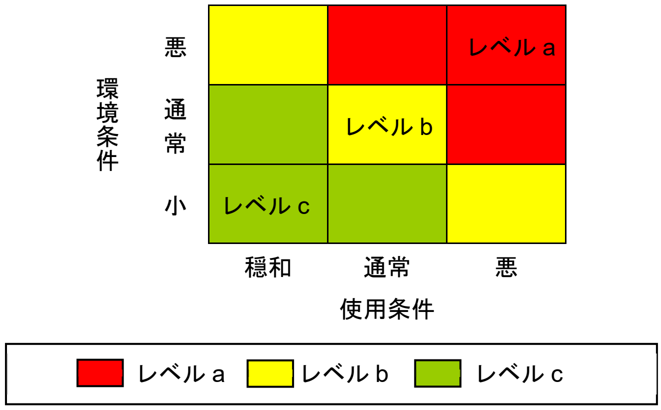


図-1.1　設置条件評価マトリクス（ゲート設備）

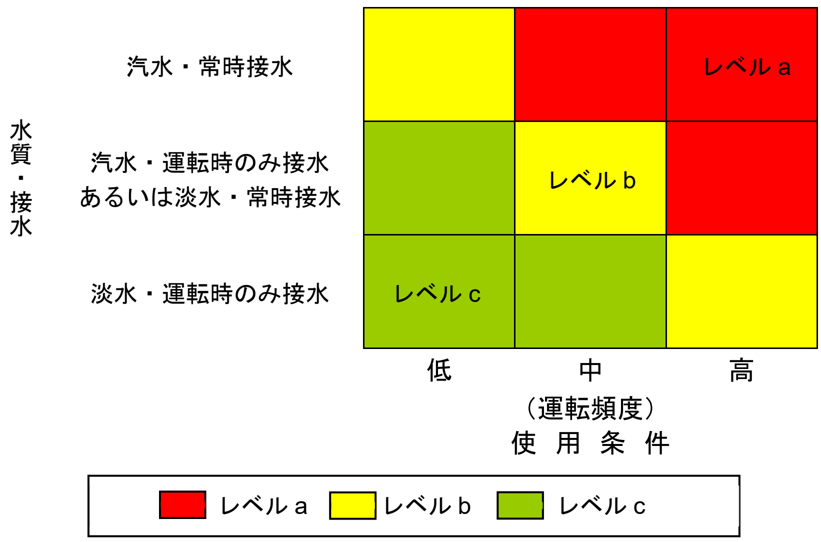


図-1.2　設置条件評価マトリクス（ポンプ設備：接水する機器）

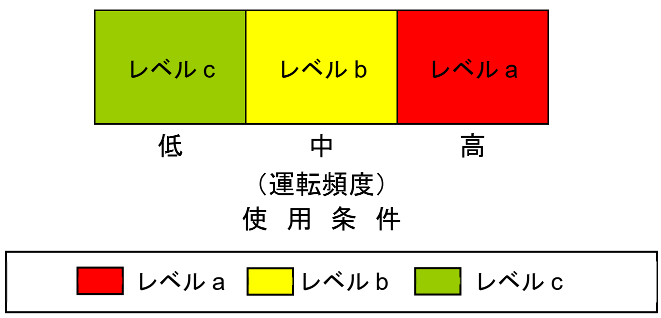


図-1.3　設置条件評価マトリクス（ポンプ設備：接水しない機器）

1−5 優先順位のとりまとめ

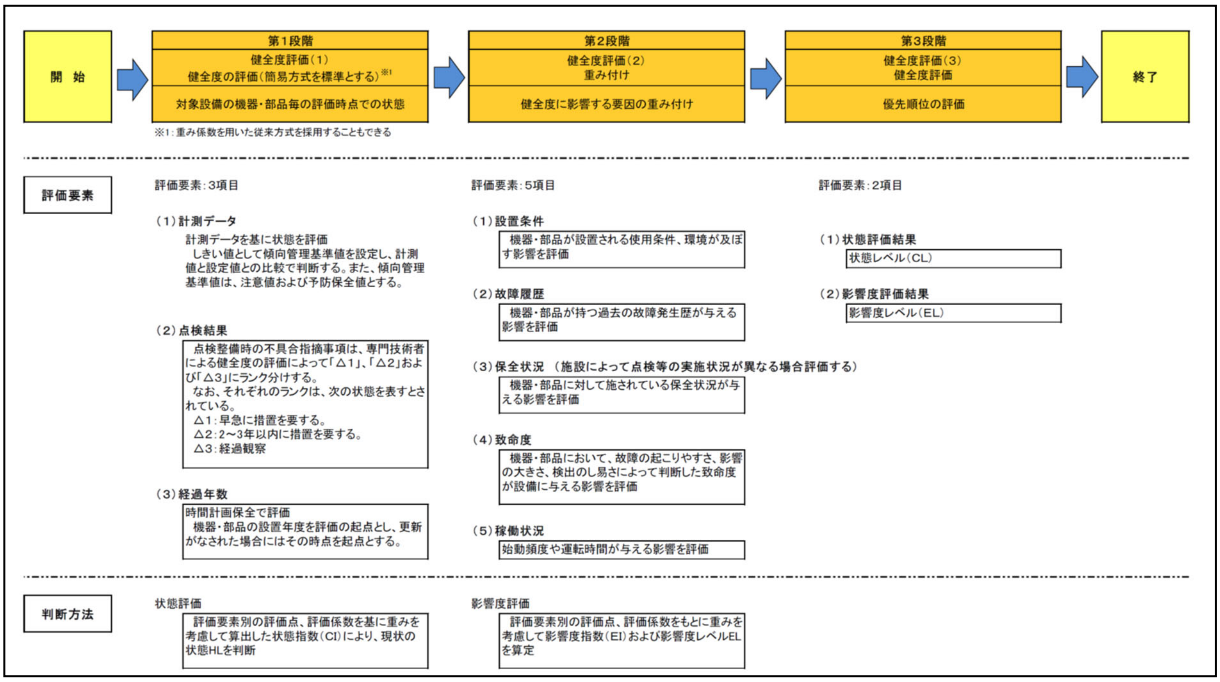
総合評価（整備・更新の優先順位の評価）に当たっては、装置・機器特性を考慮したうえで健全度の評価、設置条件による重み付け等を指数化し、機能的耐用限界を考慮して、定量的な優先度を算出した。

1）全体フロー

整備・更新の優先順位の評価における全体フローを以下に示す。

第 1 段階（状態評価）として、「計測データ」、「点検結果」、「経過年数」をもとに状態レベル（CL）を算定し、第 2 段階（影響度評価）として「設置条件」、「故障履歴」、「保全状況」、「致命度」、「稼動状況」をもとに影響度レベル（EL）を算定する。

そして、状態レベル（CL）、影響度レベル（EL）をもとに第 3 段階として優先順位の評価を行う流れである。



出典：河川ポンプ設備維持管理計画策定要領（案）【運用版】（国土交通省）

図- 1.1 整備・更新の優先順位の評価（全体フロー）

2）第 1 段階：状態評価

第 1 段階：状態評価の評価フローを以下に示す。

〇状態評価方法（第1段階）【簡易方式】

評価値の最大値を用いる簡易方式。状態評価の方法としてはこの方式を標準とする。

開 始 → **評価点、評価係数の算定**
1．計測データ（評価点C1）
2．点検結果（評価点C2）
3．経過年数（評価点C3）
→ **状態評価点最大値の確認**
CIは、C1，C2，C3評価値の**最大値**
→ **状態レベルの設定**
状態レベル（CL）を4段階に設定する。
→ 終了

評価方法

① 各評価要素をランク分けし、評価点を与える。

ＣＩ	状態レベル（CL）
4	4
3	3
2	2
1	1

評価要素の説明

1．計測データ（状態監視データ）の評価（C1）

1）使用するデータ
① 直近の計測データ（Q）
② 設置年以降残されている計測データ（Q）

2）判定基準値
① 正常値
② 注意値（S）
③ 予防保全値（T）

3）評価点の設定方法
計測値をQとする。
Qの値と傾向により、下表の通り評価点を設定する。

計測データ	評価点
T＜Q	4
S＜Q≦T	3
Q≦S （変化傾向あり）	2
Q≦S	1

※注意値（S）・予防保全値については、機器・部品に対して傾向管理が行われ、設定が可能な場合に設けることが可能となる。
上表は、増加方向が異常を示すケースであり、減少方向が異常を示すケースでは不等号の方向は逆になる。

2．点検結果の評価（C2）

1）直近の点検整備記録
点検・整備時に指摘した故障を除く不具合事項を基にの次の3レベルに分類する。
（故障については事後保全対象となるため健全度評価の対象外）

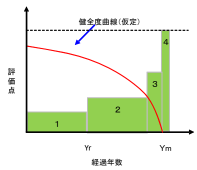
各レベルは次の状況を表す。
△1：早急に措置を要する
△2：2～3年以内に措置を要する
△3：経過観察

2）評価点の設定方法
点検整備記録に記載された、不具合の指摘事項のレベルによって、下表の通り評価点を設定する。
△1を上位とし、指摘事項の最上位のレベルを評価対象とする。

指摘事項	評価点
△１の項目有り	4
△２の項目有り	3
△３の項目有り	2
〇（正常）	1

3．経年指数（経過年数）の算出（C3）

1）機器・点検部位の経過年数（YP）
① 機器・部品の設置年
② 機器・部品の取替年
（※取替実施の場合は、設置年をリセット）



2）取替・更新の標準年数
① 信頼性による年数（Yr）
② 平均の年数（Ym）

3）標準年数の設定方法
①「マニュアル（案）」の表2.5-2に記載されている数値
② 施設における過去の整備データ等から固有の整備・更新周期を設定している場合はその数値
③ 類似部品の設定値や過去の基準等を参考にして設定

4）評価点の設定方法
下表の通り評価点を設定する。

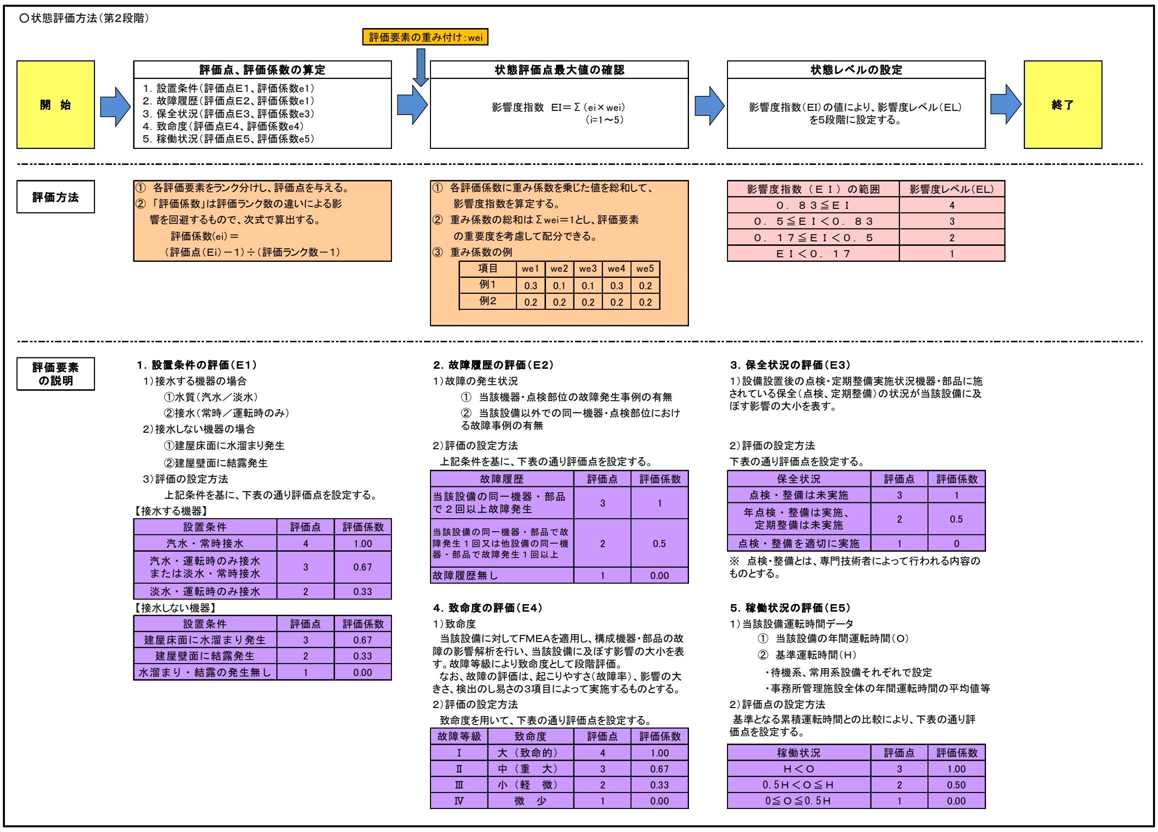
Ｙｐ	評価点
Ｙｍ≦Ｙｐ	4
Ｙｍ－3≦Ｙｐ＜Ｙｍ	3
Ｙｒ≦Ｙｐ＜Ｙｍ－3	2
０≦Ｙｐ＜Ｙｒ	1

出典：河川ポンプ設備維持管理計画策定要領（案）【運用版】（国土交通省）

図- 1.2　第 1 段階：状態評価フロー

3）第 2 段階：影響度評価

第 2 段階：影響度評価の評価フローを以下に示す。



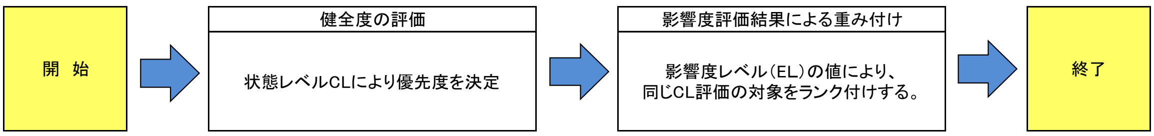
出典：河川ポンプ設備維持管理計画策定要領（案）【運用版】（国土交通省）

図-1.6　第 2 段階：影響度評価フロー

4）第 3 段階：優先順位の評価

下式に基づき、「整備・更新の優先度指数」を算定し、指数化した優先順位を設定する。

「整備・更新の優先度指数」＝CL+EL/10



出典：河川ポンプ設備維持管理計画策定要領（案）【運用版】（国土交通省）

図-1.7　第 3 段階：優先順位の評価フロー

例えば、状態レベル（CL）＝4、影響度レベル（EL）＝2 の場合は「整備・更新の優先度指数」＝4.2 となり、状態レベル（CL）＝2、影響度レベル（EL）＝1 の場合は「整備・更新の優先度指数」＝2.1 となり、優先順位は 4.2＞2.1 となる。

次頁に、今井川地下遊水地の優先順位表を示す

表　優先度評価結果(1/3)

機器・部品	仕様	設置年 or 更新年	整備年	設置(更新)又は整備からの年数	整備の耐用年数	更新の耐用年数	健全度の評価: 点検結果の整理(目視調査のみ)	精密・総合診断等の結果	故障履歴	傾向管理の可否	傾向管理可能なもの: 傾向管理値の超過 注意値	傾向管理値の超過 予防保全値	傾向管理不可能なもの: 整備の標準年数超過年数	更新の耐用年数超過年数	運用初期の異常	通常運用継続における故障リスク	健全度の評価	装置・機器の特性評価: 致命・非致命区分
1. 主ポンプ設備																		
No.10主ポンプ【B6F】	立軸[illegible]、型式：DS-VV、[illegible]	2003	2015	3	17	39		－	2012年台風18号時の水没による故障	可	－	－	-14	-24	なし	10系統排水機能喪失	○	致命
No.20主ポンプ【B6F】	立軸[illegible]、型式：DS-VV、[illegible]	2003	2015	3	17	39	メカシール部より水漏れ発生	－	2012年台風18号時の水没による故障	可	－	－	-14	-24	なし	20系統排水機能喪失	△3	致命
No.10主ポンプ用減速機【B5F】	[illegible](油圧クラッチ付) [illegible]	2003	2015	3	17	45		－	2012年台風18号時の水没による故障	可	－	－	-14	-30	なし	10系統排水機能喪失	○	致命
No.20主ポンプ用減速機【B5F】	[illegible](油圧クラッチ付) [illegible]	2003	2015	3	17	45		－	2012年台風18号時の水没による故障	可	－	－	-14	-30	なし	20系統排水機能喪失	○	致命
No.10電動吐出弁【B6F】	[illegible]	2003		15	25	55		－	無	不可	－	－	-10	-40	なし	10系統排水機能喪失	○	致命
No.20電動吐出弁【B6F】	[illegible]	2003		15	25	55		－	無	不可	－	－	-10	-40	なし	20系統排水機能喪失	○	致命
No.10手動吐出弁【B6F】	[illegible]	2003		15	28	55		－	無	不可	－	－	-13	-40	なし	10系統排水機能喪失	○	致命
No.20手動吐出弁【B6F】	[illegible]	2003		15	28	55		－	無	不可	－	－	-13	-40	なし	20系統排水機能喪失	○	致命
No10吸込弁【B6F】	[illegible] JIS B2204 [illegible]	2003		15	28	55		－	無	不可	－	－	-13	-40	なし	10系統排水機能喪失	○	致命
No20吸込弁【B6F】	[illegible] JIS B2204 [illegible]	2003		15	28	55		－	無	不可	－	－	-13	-40	なし	20系統排水機能喪失	○	致命
No.10逆止弁【B6F】	[illegible]	2003	2015	3	28	48		－	2012年台風18号時、ダッシュポット水没による故障	不可	－	－	-25	-33	なし	片系統での運転時にサーキュレート	○	非致命
No.20逆止弁【B6F】	[illegible]	2003	2015	3	28	48		－	2012年台風18号時、ダッシュポット水没による故障	不可	－	－	-25	-33	なし	片系統での運転時にサーキュレート	○	非致命
2. 主ポンプ駆動設備																		
No10主ポンプ用原動機【B5F】	ｶﾞｽﾀｰﾋﾞﾝ機関(単純開放2軸式)、型式：ATBT [illegible]	2003		15	15	40		電装部品の腐食	無	可	－	－	0	-25	なし	10系統排水機能喪失	○	致命
No20主ポンプ用原動機【B5F】	ｶﾞｽﾀｰﾋﾞﾝ機関(単純開放2軸式)、型式：ATBT [illegible]	2003		15	15	40		電装部品の腐食	無	可	－	－	0	-25	なし	20系統排水機能喪失	○	致命
No10原動機用始動蓄電池設備盤【B5F】	[illegible]	2003		15	15	40		電装部品の腐食	無	可	－	－	0	-25	なし	10系統排水機能喪失	△1	致命
No20原動機用始動蓄電池設備盤【B5F】	[illegible]	2003		15	15	40		電装部品の腐食	無	可	－	－	0	-25	なし	20系統排水機能喪失	△1	致命
3. その他ポンプ設備																		
No1-1排泥ポンプ【B6F】	[illegible]スラリー[illegible](水中ポンプ)、[illegible]	2001		17	11	22		－	無	不可	－	－	－	-5	なし	排泥機能喪失	○	非致命
No1-2排泥ポンプ【B6F】	[illegible]スラリー[illegible](水中ポンプ)、[illegible]	2001		17	11	22		－	無	不可	－	－	－	-5	なし	排泥機能喪失	○	非致命
No2排泥ポンプ【B6F】	[illegible]スラリー[illegible](水中ポンプ)、[illegible]	2001		17	11	22		－	無	不可	－	－	－	-5	なし	排泥機能喪失	○	非致命
No3排泥ポンプ【B6F】	[illegible]スラリー[illegible](水中ポンプ)、[illegible]	2001		17	11	22	故障中(運転不可)	－	2012年2月運転不可	不可	－	－	－	-5	なし	排泥機能喪失	×	非致命
No1沈砂池排水ポンプ【沈砂池】	ｻﾝﾄﾞﾎﾟﾝﾌﾟ、[illegible]	2000		18	11	22	砂に埋没のため運転不可	－	2017.7能力低下 2018.4吐出不可	不可	－	－	－	-4	なし	排水機能喪失	△2	非致命
No2沈砂池排水ポンプ【沈砂池】	ｻﾝﾄﾞﾎﾟﾝﾌﾟ、[illegible]	2000		18	11	22	故障中(運転不可)	－	2014.11能力低下 2018.4[illegible]発生	不可	－	－	－	-4	なし	排水機能喪失	×	非致命
No1床排水ポンプ【B6F】	[illegible]	2003		15	11	22		－	無	不可	－	－	－	-7	なし	運転運用-維持管理困難	○	非致命
No2床排水ポンプ【B6F】	[illegible]	2003		15	11	22		－	無	不可	－	－	－	-7	なし	運転運用-維持管理困難	○	非致命
No1床排水中継ポンプ【B3F】	[illegible]	2003		15	15	31		－	無	不可	－	－	－	-16	なし	運転運用-維持管理困難	○	非致命
No2床排水中継ポンプ【B3F】	[illegible]	2003		15	15	31		－	無	不可	－	－	－	-16	なし	運転運用-維持管理困難	○	非致命

機器・部品	保全方式	設置条件評価: 使用条件(運転頻度)	水質	接水	環境条件	設置条件評価 a悪、b中、c良	健全度評価における整備・更新の優先度	①円滑な運転操作の可否	②陳腐化	③関係諸法令-技術基準との整合	機能的耐用限界の有無	H28【運用版】準拠: 日常データ評価点 c1	点検結果評価点 c2	基準2018年経過年数 c3	状態レベル CL	設置条件 e1	故障履歴 e2	保全状況 e3	致命度(致命:1 二重化:0.67 補完:0.33 その他:0) e4	整備状況(使用条件) e5	環境度指数 EI	環境度レベル EL	整備・更新の優先度指数	整備・更新の優先度
1. 主ポンプ設備																								
No.10主ポンプ【B6F】	状態監視	低	淡水	常時接水	良	c		可	無し	整合	なし		1	2	2	0.67	0.50	1.00	1.00	0.00	0.63	3	2.3	
No.20主ポンプ【B6F】	状態監視	低	淡水	常時接水	良	c		可	無し	整合	なし		2	2	2	0.67	0.50	1.00	1.00	0.00	0.63	3	2.3	
No.10主ポンプ用減速機【B5F】	状態監視	低	－	非接水	－	c		可	無し	整合	なし		1	2	2	0.33	0.50	1.00	1.00	0.00	0.57	3	2.3	
No.20主ポンプ用減速機【B5F】	状態監視	低	－	非接水	－	c		可	無し	整合	なし		1	2	2	0.33	0.50	1.00	1.00	0.00	0.57	3	2.3	
No.10電動吐出弁【B6F】	時間計画	低	淡水	常時接水	良	c		可	無し	整合	なし		1	1	1	0.67	0.00	1.00	1.00	0.00	0.53	3	1.3	
No.20電動吐出弁【B6F】	時間計画	低	淡水	常時接水	良	c		可	無し	整合	なし		1	1	1	0.67	0.00	1.00	1.00	0.00	0.53	3	1.3	
No.10手動吐出弁【B6F】	時間計画	低	淡水	常時接水	良	c		可	無し	整合	なし		1	1	1	0.67	0.00	1.00	1.00	0.00	0.53	3	1.3	
No.20手動吐出弁【B6F】	時間計画	低	淡水	常時接水	良	c		可	無し	整合	なし		1	1	1	0.67	0.00	1.00	1.00	0.00	0.53	3	1.3	
No10吸込弁【B6F】	時間計画	低	淡水	常時接水	良	c		可	無し	整合	なし		1	1	1	0.67	0.00	1.00	1.00	0.00	0.53	3	1.3	
No20吸込弁【B6F】	時間計画	低	淡水	常時接水	良	c		可	無し	整合	なし		1	1	1	0.67	0.00	1.00	1.00	0.00	0.53	3	1.3	
No.10逆止弁【B6F】	事後保全	低	淡水	常時接水	良	c		可	無し	整合	なし		1	2	2	0.67	0.50	1.00	0.33	0.00	0.50	3	2.3	
No.20逆止弁【B6F】	事後保全	低	淡水	常時接水	良	c		可	無し	整合	なし		1	2	2	0.67	0.50	1.00	0.33	0.00	0.50	3	2.3	
2. 主ポンプ駆動設備																								
No10主ポンプ用原動機【B5F】	状態監視	低	－	非接水	－	c	1	可	無し	整合	なし		1	4	4	0.33	0.00	0.50	1.00	0.00	0.37	2	4.2	3
No20主ポンプ用原動機【B5F】	状態監視	低	－	非接水	－	c	1	可	無し	整合	なし		1	4	4	0.33	0.00	0.50	1.00	0.00	0.37	2	4.2	3
No10原動機用始動蓄電池設備盤【B5F】	状態監視	低	－	非接水	－	c	1	可	無し	整合	なし		4	4	4	0.33	0.00	0.50	1.00	0.00	0.37	2	4.2	3
No20原動機用始動蓄電池設備盤【B5F】	状態監視	低	－	非接水	－	c	1	可	無し	整合	なし		4	4	4	0.33	0.00	0.50	1.00	0.00	0.37	2	4.2	3
3. その他ポンプ設備																								
No1-1排泥ポンプ【B6F】	事後保全	低	淡水	常時接水	良	c		可	無し	整合	なし		1	2	2	0.67	0.00	1.00	0.33	0.00	0.40	2	2.2	
No1-2排泥ポンプ【B6F】	事後保全	低	淡水	常時接水	良	c		可	無し	整合	なし		1	2	2	0.67	0.00	1.00	0.33	0.00	0.40	2	2.2	
No2排泥ポンプ【B6F】	事後保全	低	淡水	常時接水	良	c		可	無し	整合	なし		1	2	2	0.67	0.00	1.00	0.33	0.00	0.40	2	2.2	
No3排泥ポンプ【B6F】	事後保全	低	淡水	常時接水	良	c	1	可	無し	整合	なし		4	2	4	0.67	0.50	1.00	0.33	0.00	0.50	3	4.3	1
No1沈砂池排水ポンプ【沈砂池】	事後保全	低	淡水	常時接水	良	c	7	可	無し	整合	なし		3	2	3	0.67	0.50	1.00	0.33	0.00	0.50	3	3.3	7
No2沈砂池排水ポンプ【沈砂池】	事後保全	低	淡水	常時接水	良	c	1	可	無し	整合	なし		4	2	4	0.67	0.50	1.00	0.33	0.00	0.50	3	4.3	1
No1床排水ポンプ【B6F】	事後保全	低	淡水	常時接水	良	c		可	無し	整合	なし		1	2	2	0.67	0.00	0.50	0.33	0.50	0.40	2	2.2	
No2床排水ポンプ【B6F】	事後保全	低	淡水	常時接水	良	c		可	無し	整合	なし		1	2	2	0.67	0.00	0.50	0.33	0.50	0.40	2	2.2	
No1床排水中継ポンプ【B3F】	事後保全	低	淡水	常時接水	良	c		可	無し	整合	なし		1	2	2	0.67	0.00	1.00	0.33	0.50	0.50	3	2.3	
No2床排水中継ポンプ【B3F】	事後保全	低	淡水	常時接水	良	c		可	無し	整合	なし		1	2	2	0.67	0.00	1.00	0.33	0.50	0.50	3	2.3	

表　優先度評価結果(2/3)

機器・部品	仕様	設置年 or 更新年	整備年	設置(更新)又は整備からの年数	整備の耐用年数	更新の耐用年数	健全度の評価: 点検結果の整理(目視調査のみ)	精密・総合診断等の結果	故障履歴	傾向管理の可否	傾向管理可能なもの: 傾向管理値の超 注意値	予防保全値	傾向管理不可能なもの: 整備の標準年数超過年数	更新の耐用年数超過年数	運用初期の異常	通常運用継続における故障リスク	健全度の評価
4. 系統機器設備																	
No.1地下タンク【屋外】	8000L	2003		15	16	33		−	無	不可	−	−	−	−18	なし	排水機能喪失	○
No.2地下タンク【屋外】	8000L	2003		15	16	33		−	無	不可	−	−	−	−18	なし	排水機能喪失	○
発電設備用燃料サービスタンク【1F】	鋼板製角型タンク(灯油) 150L	2003		15	20	36		−	無	不可	−	−	−	−21	なし	排水機能喪失	○
原動機用燃料サービスタンク【B5F】	鋼板製角型タンク(灯油) 500L	2003		15	20	40		−	無	不可	−	−	−	−25	なし	排水機能喪失	○
返油タンク【B6F】	鋼板製角型タンク(灯油) 65L	2003		15	20	40		−	無	不可	−	−	−	−25	なし	通常運用･維持管理困難	○
廃油タンク【B6F】	鋼板製角型タンク(灯油) 100L	2003		15	20	40		−	無	不可	−	−	−	−25	なし	通常運用･維持管理困難	○
No.1発電機用燃料移送ポンプ【1F】	ギヤポンプ、口径:25mm、吐出圧力:0.3MPa、 吐出量:25L/min、 電動機:0.75kW×400V×50Hz	2003		15	15	18		−	無	不可	−	−	−	−3	なし	排水機能喪失	○
No.2発電機用燃料移送ポンプ【1F】	ギヤポンプ、口径:25mm、吐出圧力:0.3MPa、 吐出量:25L/min、 電動機:0.75kW×400V×50Hz	2003		15	15	18		−	無	不可	−	−	−	−3	なし	排水機能喪失	○
No.1原動機用燃料移送ポンプ【1F】	ギヤポンプ、口径:25mm、吐出圧力:0.3MPa、 吐出量:25L/min、 電動機:0.75kW×400V×50Hz	2003		15	15	20		−	無	不可	−	−	−	−5	なし	排水機能喪失	○
No.2原動機用燃料移送ポンプ【1F】	ギヤポンプ、口径:25mm、吐出圧力:0.3MPa、 吐出量:25L/min、 電動機:0.75kW×400V×50Hz	2003		15	15	20		−	無	不可	−	−	−	−5	なし	排水機能喪失	○
No.1返油ポンプ【B6F】	ギヤポンプ、口径:25mm、吐出圧力:0.65MPa、 吐出量:30L/min、 電動機:2.2kW×400V×50Hz	2003		15	15	20		−	無	不可	−	−	−	−5	なし	通常運用･維持管理困難	○
No.2返油ポンプ【B6F】	ギヤポンプ、口径:25mm、吐出圧力:0.65MPa、 吐出量:30L/min、 電動機:2.2kW×400V×50Hz	2003		15	15	20		−	無	不可	−	−	−	−5	なし	通常運用･維持管理困難	○
No.1廃油ポンプ【B6F】	ギヤポンプ、口径:25mm、吐出圧力:0.65MPa、 吐出量:8L/min、 電動機:0.75kW×400V×50Hz	2003		15	15	20		−	無	不可	−	−	−	−5	なし	通常運用･維持管理困難	○
No.2廃油ポンプ【B6F】	ギヤポンプ、口径:25mm、吐出圧力:0.65MPa、 吐出量:8L/min、 電動機:0.75kW×400V×50Hz	2003		15	15	20		−	無	不可	−	−	−	−5	なし	通常運用･維持管理困難	○
5. ゲート設備																	
No.1流入ゲート本体【沈砂池】	8000×2567	2002		16	29	58		−	無	不可	−	−	−13	−42	なし	流入機能の喪失	○
No.1流入ゲート油圧シリンダ【沈砂池】	油圧ポンプ式、 電動機出力:5.5kW	2002		16	20	37		−	無	不可	−	−	−4	−21	なし	流入機能の喪失	○
No.1流入ゲート油圧ユニット【沈砂池】	油圧ポンプ式、 電動機出力:5.5kW	2002		16	18	31		−	無	可	−	−	−2	−15	なし	流入機能の喪失	△1
No.2流入ゲート本体【沈砂池】	8000×2567	2002		16	29	58		−	無	不可	−	−	−13	−42	なし	流入機能の喪失	○
No.2流入ゲート油圧シリンダ【沈砂池】	油圧ポンプ式、 電動機出力:5.5kW	2002		16	20	37		−	無	不可	−	−	−4	−21	なし	流入機能の喪失	○
No.2流入ゲート油圧ユニット【沈砂池】	油圧ポンプ式、 電動機出力:5.5kW	2002		16	18	31		−	無	可	−	−	−2	−15	なし	流入機能の喪失	△1
放流ゲート本体【屋外】	ステンレス鋼板製電動ゲート、水密:四方、 開閉速度:0.3m/min、W1000×H1000	2002		16	29	58		−	無	不可	−	−	−13	−42	なし	排水機能の喪失	○
放流ゲート開閉機【屋外】	電動機出力:0.75kW×400V×50Hz	2002		16	27	46		−	無	可	−	−	−11	−30	なし	排水機能の喪失	○
6. 除塵設備																	
越流堤スクリーン	車両通行用固定バースクリーン 3～8m×80m、材質:SUS304	1995		23	40	40		−	無	不可	−	−	−	−17	なし	流入機能の喪失	○
ポンプ井スクリーン		2001		17	40	40		−	無	不可	−	−	−	−23	なし	排水機能の喪失	○
7. 脱臭設備																	
No.1活性炭吸着塔【B2F】	処理能力:150m3/min	2002		16	15	20		−	無	不可	−	−	−	−4	なし	通常運用･維持管理困難	○
No.2活性炭吸着塔【B3F】	処理能力:150m3/min	2002		16	15	20		−	無	不可	−	−	−	−4	なし	通常運用･維持管理困難	○
No.1脱臭ファン【B1F】	ターボファン、送風能力:150m3/min、1.3kPa 電動機出力:7.5kW	2002		16	15	20		−	無	不可	−	−	−	−4	なし	通常運用･維持管理困難	○
No.2脱臭ファン【B1F】	ターボファン、送風能力:150m3/min、1.3kPa 電動機出力:7.5kW	2002		16	15	20		−	無	不可	−	−	−	−4	なし	通常運用･維持管理困難	○
No.1乾式エアフィルタ【B1F】	型式:V−J 容量:150m3/min、電源:400V 50Hz	2002		16	15	20		−	無	不可	−	−	−	−4	なし	通常運用･維持管理困難	○
No.2乾式エアフィルタ【B1F】	型式:V−J 容量:150m3/min、電源:400V 50Hz	2002		16	15	20		−	無	不可	−	−	−	−4	なし	通常運用･維持管理困難	○

機器・部品	装置・機器の特性評価: 致命・非致命区分	保全方式	設置条件評価: 使用条件(運転頻度)	水質	接水	環境条件	設置条件評価 a悪、b中、c良	健全度評価における整備・更新の優先度	①円滑な運転操作の可否	②陳腐化	③関係諸法令・技術基準との整合	機能的耐用限界の有無	H28【運用版】準拠: 計測データ評価点 c1	点検結果評価点 c2	基準2018年経過年数 c3	状態レベル CL	設置条件 e1	故障履歴 e2	保全状況 e3	致命度 致命:1 二重化:0.67 補完:0.33 その他:0 e4	稼働状況(使用条件) e5	環境度指数 EI	環境度レベル EL	整備・更新の優先度指数	整備・更新の優先度
4. 系統機器設備																									
No.1地下タンク【屋外】	致命	時間計画	低	−	非接水	−	c		可	無し	整合	なし		1	1	1	0.67	0.00	0.00	1.00	1.00	0.53	3	1.3	
No.2地下タンク【屋外】	致命	時間計画	低	−	非接水	−	c		可	無し	整合	なし		1	1	1	0.67	0.00	0.00	1.00	1.00	0.53	3	1.3	
発電設備用燃料サービスタンク【1F】	致命	時間計画	低	−	非接水	−	c		可	無し	整合	なし		1	1	1	0.00	0.00	0.00	1.00	1.00	0.40	2	1.2	
原動機用燃料サービスタンク【B5F】	致命	時間計画	低	−	非接水	−	c		可	無し	整合	なし		1	1	1	0.33	0.00	0.00	1.00	1.00	0.47	2	1.2	
返油タンク【B6F】	非致命	事後保全	低	−	非接水	−	c		可	無し	整合	なし		1	1	1	0.67	0.00	0.50	0.33	0.00	0.30	2	1.2	
廃油タンク【B6F】	非致命	事後保全	低	−	非接水	−	c		可	無し	整合	なし		1	1	1	0.67	0.00	0.50	0.33	0.00	0.30	2	1.2	
No.1発電機用燃料移送ポンプ【1F】	非致命	事後保全	低	−	非接水	−	c	7	可	無し	整合	なし		1	3	3	0.00	0.00	0.50	0.67	0.00	0.23	2	3.2	8
No.2発電機用燃料移送ポンプ【1F】	非致命	事後保全	低	−	非接水	−	c	7	可	無し	整合	なし		1	3	3	0.00	0.00	0.50	0.67	0.00	0.23	2	3.2	8
No.1原動機用燃料移送ポンプ【1F】	非致命	事後保全	低	−	非接水	−	c		可	無し	整合	なし		1	2	2	0.00	0.00	1.00	0.67	0.00	0.33	2	2.2	
No.2原動機用燃料移送ポンプ【1F】	非致命	事後保全	低	−	非接水	−	c		可	無し	整合	なし		1	2	2	0.00	0.00	1.00	0.67	0.00	0.33	2	2.2	
No.1返油ポンプ【B6F】	非致命	事後保全	低	−	非接水	−	c		可	無し	整合	なし		1	2	2	0.67	0.00	1.00	0.33	0.00	0.40	2	2.2	
No.2返油ポンプ【B6F】	非致命	事後保全	低	−	非接水	−	c		可	無し	整合	なし		1	2	2	0.67	0.00	1.00	0.33	0.00	0.40	2	2.2	
No.1廃油ポンプ【B6F】	非致命	事後保全	低	−	非接水	−	c		可	無し	整合	なし		1	2	2	0.67	0.00	1.00	0.33	0.00	0.40	2	2.2	
No.2廃油ポンプ【B6F】	非致命	事後保全	低	−	非接水	−	c		可	無し	整合	なし		1	2	2	0.67	0.00	1.00	0.33	0.00	0.40	2	2.2	
5. ゲート設備																									
No.1流入ゲート本体【沈砂池】	致命	時間計画	低	淡水	常時接水	良	c		可	無し	整合	なし		1	1	1	0.67	0.00	1.00	1.00	0.00	0.53	3	1.3	
No.1流入ゲート油圧シリンダ【沈砂池】	致命	時間計画	低	淡水	常時接水	良	c		可	無し	整合	なし		1	1	1	0.67	0.00	1.00	1.00	0.00	0.53	3	1.3	
No.1流入ゲート油圧ユニット【沈砂池】	致命	状態監視	低	−	非接水	−	c	1	可	無し	整合	なし		4	3	4	0.00	0.00	1.00	1.00	0.00	0.40	2	4.2	3
No.2流入ゲート本体【沈砂池】	致命	時間計画	低	淡水	常時接水	良	c		可	無し	整合	なし		1	1	1	0.67	0.00	1.00	1.00	0.00	0.53	3	1.3	
No.2流入ゲート油圧シリンダ【沈砂池】	致命	時間計画	低	淡水	常時接水	良	c		可	無し	整合	なし		1	1	1	0.67	0.00	1.00	1.00	0.00	0.53	3	1.3	
No.2流入ゲート油圧ユニット【沈砂池】	致命	状態監視	低	−	非接水	−	c	1	可	無し	整合	なし		4	3	4	0.00	0.00	1.00	1.00	0.00	0.40	2	4.2	3
放流ゲート本体【屋外】	致命	時間計画	低	淡水	常時接水	良	c		可	無し	整合	なし		1	1	1	0.67	0.00	0.50	1.00	0.00	0.43	2	1.2	
放流ゲート開閉機【屋外】	致命	状態監視	低	−	非接水	−	c		可	無し	整合	なし		1	1	1	0.33	0.00	0.50	1.00	0.00	0.37	2	1.2	
6. 除塵設備																									
越流堤スクリーン	致命	時間計画	低	淡水	常時接水	良	c		可	無し	整合	なし		1	1	1	0.33	0.00	1.00	1.00	0.00	0.47	2	1.2	
ポンプ井スクリーン	致命	時間計画	低	淡水	常時接水	良	c		可	無し	整合	なし		1	1	1	0.33	0.00	1.00	1.00	0.00	0.47	2	1.2	
7. 脱臭設備																									
No.1活性炭吸着塔【B2F】	非致命	事後保全	低	−	非接水	−	c		可	無し	整合	なし		1	2	2	0.00	0.00	0.50	0.33	0.50	0.27	2	2.2	
No.2活性炭吸着塔【B3F】	非致命	事後保全	低	−	非接水	−	c		可	無し	整合	なし		1	2	2	0.00	0.00	0.50	0.33	0.50	0.27	2	2.2	
No.1脱臭ファン【B1F】	非致命	事後保全	低	−	非接水	−	c		可	無し	整合	なし		1	2	2	0.00	0.00	0.50	0.33	0.50	0.27	2	2.2	
No.2脱臭ファン【B1F】	非致命	事後保全	低	−	非接水	−	c		可	無し	整合	なし		1	2	2	0.00	0.00	0.50	0.33	0.50	0.27	2	2.2	
No.1乾式エアフィルタ【B1F】	非致命	事後保全	低	−	非接水	−	c		可	無し	整合	なし		1	2	2	0.00	0.00	0.50	0.00	0.50	0.20	2	2.2	
No.2乾式エアフィルタ【B1F】	非致命	事後保全	低	−	非接水	−	c		可	無し	整合	なし		1	2	2	0.00	0.00	0.50	0.00	0.50	0.20	2	2.2	

表　優先度評価結果(3/3)

機器・部品	仕様	設置年 or 更新年	整備年	設置(更新)又は整備からの年数	整備の耐用年数	更新の耐用年数	健全度の評価：点検結果の整理(目視調査のみ)	精密・総合診断等の結果	故障履歴	傾向管理の可否	傾向管理可能なもの：傾向管理値の超過 注意値	予防保全値	傾向管理不可能なもの：整備の標準年数超過年数	更新の耐用年数超過年数	運用初期の異常	通常運用継続における故障リスク
8. 付属設備																
床排水中継水槽 【B3F】	容量:3m3	2003		15	14	26		–	無	不可	–	–	–	-11	なし	通常運用・維持管理困難
換気設備　一式	型番:5LFM51.5、400V、1.5kW、50Hz	2003		15		20		–	無	不可	–	–	–	-5	なし	通常運用・維持管理困難
空気熱源ヒートポンプ式空調機(操作室)　ACP-1	室内機型式:FVYP224M/P、室外機:RZYP224M/P(E.H) 床置直吹式、冷房20kW、暖房22.4kW、	2016	2016	2		15		–	有	不可	–	–	–	-13	なし	通常運用・維持管理困難
空気熱源ヒートポンプ式空調機(UPS室)　ACP-2	型式:SZVYP140M(C) マルチ式、冷房20kW、暖房22.4kW、天カセ×2	2003		15		15		–	無	不可	–	–	–	0	なし	通常運用・維持管理困難
空気熱源ヒートポンプ式空調機(工作室)　ACP-3	型式:SMZGP224MD 床置直吹式(冷房専用)、冷房12.5kW	2003		15		15		–	無	不可	–	–	–	0	なし	通常運用・維持管理困難
全熱交換ユニット(操作室)　AEU-1	型式:VAC500FA(S) 天井カセット式、φ150×180m3/h×80pa	2003		15		20		–	無	不可	–	–	–	-5	なし	通常運用・維持管理困難
全熱交換ユニット(工作室)　AEU-1	型式:VAM800G(S) 天井カセット式、φ200×660m3/h×100pa	2003		15		20		–	無	不可	–	–	–	-5	なし	通常運用・維持管理困難
No1エレベータ		2003		15		25		–	無	不可	–	–	–	-10	なし	通常運用・維持管理困難
No2エレベータ		2003	2014	4		25		–	有	不可	–	–	–	-10	なし	通常運用・維持管理困難
照明設備　一式		2003		15		15	一部故障中 (点灯不可)	一部 絶縁抵抗値不良	有	不可	–	–	–	0	なし	通常運用・維持管理困難
自動火災報知機		2003		15		15		–	無	不可	–	–	–	0	なし	通常運用・維持管理困難
二酸化炭素消火設備		2003		15		18		–	無	不可	–	–	–	-3	なし	通常運用・維持管理困難
防災設備　一式		2003		15		12	一部故障中	–	無	不可	–	–	–	3	なし	通常運用・維持管理困難
衛生設備　一式		2003		15		23		–	無	不可	–	–	–	-8	なし	通常運用・維持管理困難
給水設備　一式		2003		15		25		–	無	不可	–	–	–	-10	なし	通常運用・維持管理困難
排水設備　一式		2003		15		30		–	無	不可	–	–	–	-15	なし	通常運用・維持管理困難
放送・受信設備　一式		2003		15		15		–	無	不可	–	–	–	0	なし	通常運用・維持管理困難
天井クレーン①	ｷﾞﾔｰﾄﾞﾄﾛﾘ式(手動) 定格荷重:2t、揚程:22m、横行:2.5m	2003		15		40		–	無	不可	–	–	–	-25	なし	通常運用・維持管理困難
天井クレーン②	ｷﾞﾔｰﾄﾞﾄﾛﾘﾌﾞﾛｯｸﾁｪｰﾝ式ﾛｰﾍｯﾄﾞ型(手動) 定格荷重:2t、揚程:40m、走行距離:6m	2003		15		40		–	無	不可	–	–	–	-25	なし	通常運用・維持管理困難
天井クレーン③	ｷﾞﾔｰﾄﾞﾄﾛﾘﾌﾞﾛｯｸﾁｪｰﾝ式ﾛｰﾍｯﾄﾞ型(手動) 定格荷重:5t、揚程:14m、走行距離:11m	2003		15		40		–	無	不可	–	–	–	-25	なし	通常運用・維持管理困難

機器・部品	健全度の評価	装置・機器の特性評価：致命・非致命区分	保全方式	設置条件評価：使用条件(運転頻度)	環境条件 水質	接水	環境条件	設置条件評価 a悪、b中、c良	健全度評価における整備・更新の優先度	① 円滑な運転操作の可否	② 陳腐化	③ 関係諸法令・技術基準との整合	機能的耐用限界の有無	H28【運用版】準拠：計測データ評価点 c1	点検結果評価点 c2	基準2018年 経過年数 c3	状態レベル CL	設置条件 e1	故障履歴 e2	保全状況 e3	致命度 致命:1 二重化:0.67 補完:0.33 その他:0 e4	稼働状況(使用条件) e5	環境度指数 EI	環境度レベル EL	整備・更新の優先度指数	整備・更新の優先度
8. 付属設備																										
床排水中継水槽 【B3F】	○	致命	時間計画	低	淡水	常時接水	良	c		可	無し	整合	なし		1	2	2	0.67	0.00	1.00	0.33	1.00	0.60	3	2.3	
換気設備　一式	△2	非致命	事後保全	高	–	非接水	–	a	9	可	無し	整合	なし	–	3	2	3	0.00	0.00	0.50	0.33	1.00	0.37	2	3.2	10
空気熱源ヒートポンプ式空調機(操作室)　ACP-1	○	非致命	事後保全	高	–	非接水	–	a		可	無し	整合	なし	–	1	2	2	0.00	0.50	0.50	0.33	1.00	0.47	2	2.2	
空気熱源ヒートポンプ式空調機(UPS室)　ACP-2	○	非致命	事後保全	高	–	非接水	–	a	1	可	無し	整合	なし	–	1	4	4	0.00	0.00	0.50	0.33	1.00	0.37	2	4.2	3
空気熱源ヒートポンプ式空調機(工作室)　ACP-3	○	非致命	事後保全	低	–	非接水	–	c	1	可	無し	整合	なし	–	1	4	4	0.00	0.00	0.50	0.00	0.50	0.20	2	4.2	3
全熱交換ユニット(操作室)　AEU-1	○	非致命	事後保全	高	–	非接水	–	a		可	無し	整合	なし	–	1	2	2	0.00	0.00	0.50	0.33	1.00	0.37	2	2.2	
全熱交換ユニット(工作室)　AEU-1	○	非致命	事後保全	低	–	非接水	–	c		可	無し	整合	なし	–	1	2	2	0.00	0.00	0.50	0.00	0.50	0.20	2	2.2	
No1エレベータ	○	非致命	事後保全	低	–	非接水	–	c		可	無し	整合	なし	–	1	2	2	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	0.10	1	2.1	
No2エレベータ	○	非致命	事後保全	低	–	非接水	–	c		可	無し	整合	なし	–	1	2	2	0.33	0.50	0.00	0.00	0.50	0.27	2	2.2	
照明設備　一式	△2	非致命	事後保全	低	–	非接水	–	c	1	可	無し	整合	なし	–	3	4	4	0.33	0.50	0.50	0.00	0.50	0.37	2	4.2	3
自動火災報知機	○	非致命	事後保全	高	–	非接水	–	a	1	可	無し	整合	なし	–	1	4	4	0.00	0.00	0.50	0.00	1.00	0.30	2	4.2	3
二酸化炭素消火設備	○	非致命	事後保全	低	–	非接水	–	c	13	可	無し	整合	なし	–	1	3	3	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00	0.10	1	3.1	14
防災設備　一式	△2	非致命	事後保全	低	–	非接水	–	c	1	可	無し	整合	なし	–	3	4	4	0.00	0.00	0.50	0.00	1.00	0.30	2	4.2	3
衛生設備　一式	○	非致命	事後保全	低	–	運転時接水	良	c		可	無し	整合	なし	–	1	2	2	0.33	0.00	0.50	0.00	0.50	0.27	2	2.2	
給水設備　一式	○	非致命	事後保全	低	–	常時接水	良	c		可	無し	整合	なし	–	1	2	2	0.67	0.00	0.50	0.00	0.50	0.33	2	2.2	
排水設備　一式	○	非致命	事後保全	低	–	常時接水	良	c		可	無し	整合	なし	–	1	2	2	0.33	0.00	0.50	0.00	0.50	0.27	2	2.2	
放送・受信設備　一式	○	非致命	事後保全	低	–	非接水	–	c	1	可	無し	整合	なし	–	1	4	4	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00	0.10	1	4.1	3
天井クレーン①	○	非致命	事後保全	低	–	非接水	–	c		可	無し	整合	なし	–	1	2	2	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.20	2	2.2	
天井クレーン②	○	非致命	事後保全	低	–	非接水	–	c		可	無し	整合	なし	–	1	2	2	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.20	2	2.2	
天井クレーン③	○	非致命	事後保全	低	–	非接水	–	c		可	無し	整合	なし	–	1	2	2	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.20	2	2.2	

2. 電気通信設備　総合評価

電気通信設備の総合評価（更新の必要性、優先度の評価）について、「電気通信施設アセットマネジメント要領・同解説（案）国土交通省（以下、電通マニュアル）」に基づき、以下に示す検討フローに従い、評価を実施した。

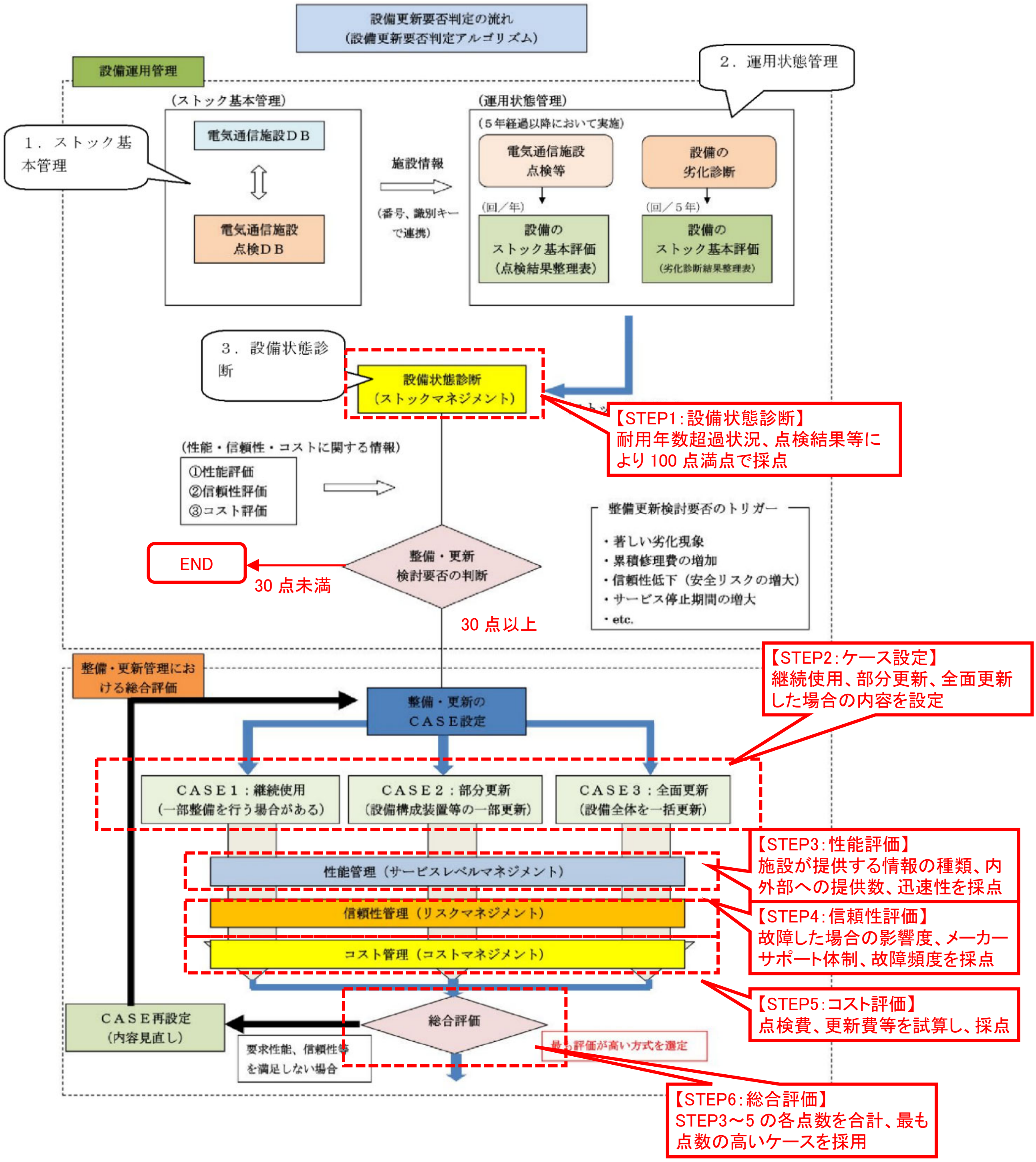


図-2.1　電気通信設備の検討フロー

電気通信設備の総合評価は、まず【STEP1：設備状態診断（ストック基本評価）】を 100 点満点で評価し、30 点未満の場合は、継続使用可能という評価となり、そこで評価は完了する。

30 点以上の場合は、【STEP2：ケース設定】で、継続使用、部分更新、全面更新の 3 ケースを設定し、それぞれ「STEP3：性能評価」、「STEP4：信頼性評価」、「STEP5:コスト評価」を行い、【STEP6：総合評価】として最も点数が高いケースを採用する。

表-2.1　維持管理方針検討における評価項目一覧

基本評価項目	中項目	小項目	概要
【STEP1】 設備状態診断 （ストックマネジメント）	ストック基本評価	①経過年	耐用年数の超過状況を評価
		②適用仕様書	最新の仕様に即しているかを評価
		③障害履歴	過去の障害発生回数を評価
		④点検記録	点検の結果を評価
	状態診断	⑤設備現況	外部・内部の劣化状況、操作性、環境等を評価

「電通マニュアル」を参考に、①～⑤の採点を行い、<u>「30 点以上の場合は STEP2」へ、「30 点未満の場合は検討終了（現行の設備を継続して使用）」</u>

【STEP2】 ケース設定	以下の 3 ケースの設定を行う。 CASE1：継続使用⇒現行の機器をそのまま使用する案。 CASE2：部分更新⇒設備を構成する機器の一部を更新して使用する案。 CASE3：全面更新⇒設備全体を更新する案。

CASE1～CASE3 に対して、以下の STEP3～5 の評価（採点）を行う。

【STEP3】 性能評価 （サービスレベル管理）	基本性能評価	⑥機能評価	基本的な機能を評価
		⑦性能評価	処理速度、伝送速度等を評価
	外部サービス評価	⑧サービス評価（外部）	外部（国交省以外）への情報提供している場合のサービスレベルを評価
	内部サービス評価	⑨サービス評価（内部）	操作性や運用性を評価
【STEP4】 信頼性評価 （リスク評価）	影響度評価 （有効性評価）	⑩重要性	提供するサービスの重要度（外部機関の数、提供サービスの量等）、河川・道路管理・運用における重要度（主要 or 補助、代替性）等を評価
		⑪安全性	一般住民や公共施設利用者への影響や人命財産への影響度を評価
		⑫影響範囲	故障時の地域への影響範囲（特定地域、全国等）、組織内の影響範囲等を評価
	設備運用信頼性評価 （障害復旧難易性評価）	⑬保守部品供給	保守部品の在庫、製造状況を評価
		⑭技術者体制	専任技術者の有無、対応時間等を評価
		⑮サービス保証	OS や単独製品のサービス保証期間、障害対応に必要な時間を評価
		⑯障害復旧時間	障害復旧に必要な時間を評価
	信頼度評価	⑰障害発生頻度	過去の障害発生頻度を評価
【STEP5】 コスト評価 （コスト管理）	維持運用コスト評価	⑱点検経費	点検費用を評価
		⑲修繕費	機器等の想定修繕費用を評価
		⑳運用等経費	電力料金等を評価
	整備・更新コスト評価	㉑整備更新費	オーバーホールや設備全体の更新費用を評価

CASE1～CASE3 に対して、⑥～㉑の評価（採点）を行う。

【STEP6】 総合評価	各 CASE の⑥～㉑の合計点のうち、最も点数の高い CASE を採用

表　アセットマネジメント評価結果一覧（1/4）

No	設備名称	装置名称	品名・規格	ストックマネジメント点検結果整理表の適用種別	数量	設置場所	設置年/更新年	経過年数	アセットマネジメント評価・判定 ストック基本評価点数（点検結果整理表）（劣化診断結果整理表）	有効性評価点数	信頼性評価点数	移設・廃止計画の有無	総合評価判定結果	更新優先順位	更新・対策実施時期	点検業務等の技術的所見事項
1	受変電設備	柱上気中負荷開閉器	3φ 3W 200V 50Hz1φ 3W 200-100V 50Hz	01受変電設備	1	屋外	2008年	15年	7.3	—	—	無	—	継続使用	—	
2		高圧引込受電盤(引込) MC-1【2F】	屋内自立型(高圧気中開閉器含)	01受変電設備	1	屋内 2F 電気室	2008年	15年	4.8	—	—	無	—	継続使用	—	
3		高圧引込受電盤(受電) MC-2【2F】	屋内自立型(高圧真空遮断器含)	01受変電設備	1	屋内 2F 電気室	2008年	15年	4.8	—	—	無	—	継続使用	—	
4		動力変圧器盤 TC-1【2F】	屋内自立型	01受変電設備	1	屋内 2F 電気室	2008年	15年	4.8	—	—	無	—	継続使用	—	
5		動力主幹盤1 LC-1【2F】	屋内自立型	01受変電設備	1	屋内 2F 電気室	2008年	15年	4.8	—	—	無	—	継続使用	—	
6		動力主幹盤2 LC-2【2F】	屋内自立型	01受変電設備	1	屋内 2F 電気室	2008年	15年	4.8	—	—	無	—	継続使用	—	
7		照明主幹盤 LC-3【2F】	屋内自立型	01受変電設備	1	屋内 2F 電気室	2008年	15年	4.8	—	—	無	—	継続使用	—	
8		保護継電器盤 PRB【2F】	屋内自立型	01受変電設備	1	屋内 2F 電気室	2008年	15年	4.8	—	—	無	—	継続使用	—	
9	発動発電設備	発電機 (原動機、自動始動発電機盤G、消音器 含む)	A1A-03(カワサキ) ガスタービン機関 圧縮機:遠心2段 タービン:軸流2段 出力:250kVA [仕様]キュービクル [発電型式]ガスタービン [発電容量]250KVA [電圧]400V	02発動発電設備(予備発電設備)(原動機(ガスタービン))	1	屋内 1F 自家発室	2008年	15年	8.5	—	—	無	—	継続使用	—	
10				02発動発電設備(予備発電設備)(発電機)	1	屋内 1F 自家発室	2008年	15年	2.8	—	—	無	—	継続使用	—	
11				02発動発電設備(予備発電設備)(発電機制御盤)	1	屋内 1F 自家発室	2008年	15年	10.1	—	—	無	—	継続使用	—	
12				02発動発電設備(予備発電設備)(消音器(給気、排気、換気))	1	屋内 1F 自家発室	2008年	15年	2.8	—	—	無	—	継続使用	—	
13		始動用直流電源装置盤 G-DC【1F】	屋内自立型	02発動発電設備(予備発電設備)(直流電源盤)	1	屋内 1F 自家発室	2008年	15年	2.8	—	—	無	—	継続使用	—	
14	無停電電源設備	無停電電源装置 UPS1~3、DBC	蓄電池盤(UPS1)、充電器盤(UPS2)、UPS制御盤(UPS3)、制御電源分電盤(DBC)にて構成 始動用:150Ah、制御用:50Ah、1080Ahセル	03無停電電源設備	1	屋内 3F UPS室	2008年	15年	5.5	—	—	無	—	継続使用	—	
15	CCTV設備	カメラ(越流堤)	型式:KP-D21、 デジタル電動ズームレンズ:C14ZME-P	05CCTV設備(カメラ装置)	1	屋外 越流堤	2008年	15年	4.8	—	—	無	—	継続使用	—	
16		カメラ中継箱(越流堤)【屋外】	屋外壁掛型(架台付)	01受変電設備	1	屋外 越流堤	2008年	15年	4.8	—	—	無	—	継続使用	—	
17		ITV制御盤 ITV1	屋外自立形、映像切替器(4ch以上)、照明スイッチ付	05CCTV設備(制御装置)	1	屋内 3F 制御室	2008年	15年	3.0	—	—	無	—	継続使用	—	
18		ITV監視盤(デスク&ディスプレー)	デスク形(操作パネル、モニタ、表示器)	21ダム・堰情報システム(遠方手動操作卓・表示設定操作卓)	1	屋内 3F 制御室	2008年	15年	14.3	—	—	無	—	継続使用	—	
19	非常警報装置	非常通報装置	一般電話回線通報方式	10非常警報設備(道路トンネル非常灯装置(受信制御機))	1	屋内 3F 制御室(現場操作盤LCB内)	2008年	15年	5.3	—	—	無	—	継続使用	—	
20	監視操作制御設備	コントローラ盤(1) CTR-1【3F】	[型式]屋内自立型 [製作会社]明電舎	21ダム・堰情報システム(演算処理装置Ⅰ・Ⅱ)	1	屋内 3F 制御室	2008年	15年	21.8	—	—	無	—	継続使用	—	
21		コントローラ盤(2) CRT-2【3F】	[型式]屋内自立型 [製作会社]明電舎	21ダム・堰情報システム(演算処理装置Ⅰ・Ⅱ)	1	屋内 3F 制御室	2008年	15年	21.8	—	—	無	—	継続使用	—	
22		コントローラ盤(3) CRT-3【3F】	[型式]屋内自立型 [製作会社]明電舎	21ダム・堰情報システム(演算処理装置Ⅰ・Ⅱ)	1	屋内 3F 制御室	2008年	15年	21.8	—	—	無	—	継続使用	—	
23		補助継電器盤(1)-1 ARB-1-1【2F】	屋内自立型	01受変電設備	1	屋内 2F 電気室	2008年	15年	21.8	—	—	無	—	継続使用	—	
24		補助継電器盤(1)-2 ARB-1-2【2F】	屋内自立型、テレメータ装置含む	01受変電設備	1	屋内 2F 電気室	2008年	15年	21.8	—	—	無	—	継続使用	—	
25		補助継電器盤(2)-1 ARB-2-1【2F】	屋内自立型	01受変電設備	1	屋内 2F 電気室	2008年	15年	21.8	—	—	無	—	継続使用	—	
26		補助継電器盤(2)-2 ARB-2-2【2F】	屋内自立型	01受変電設備	1	屋内 2F 電気室	2008年	15年	21.8	—	—	無	—	継続使用	—	
27		計装制御盤 ICB【3F】	屋内自立型	21ダム・堰情報システム(演算処理装置Ⅰ・Ⅱ)	1	屋内 3F 制御室	2008年	15年	25.5	—	—	無	—	継続使用	—	
28		現場操作盤 LCB【3F】	屋内自立型	10非常警報設備(道路トンネル非常灯装置(監視盤))	1	屋内 3F 制御室	2008年	15年	21.8	—	—	無	—	継続使用	—	
29		監視制御システム1 CD1【3F】	屋内自立型	21ダム・堰情報システム(演算処理装置Ⅰ・Ⅱ)	1	屋内 3F 制御室	2008年	15年	21.8	—	—	無	—	継続使用	—	
30		監視制御システム盤(デスク&PC)【3F】	屋内自立型	21ダム・堰情報システム(演算処理装置Ⅰ・Ⅱ)	1	屋内 3F 制御室	2008年	15年	21.8	—	—	無	—	継続使用	—	
31		監視端末装置 DS【維持管理用】【3F】	屋内自立型	21ダム・堰情報システム(演算処理装置Ⅰ・Ⅱ)	1	屋内 3F 制御室	2008年	15年	21.8	—	—	無	—	継続使用	—	
32		監視端末装置 CD【遠方監視用】【3F】	屋内自立型	21ダム・堰情報システム(演算処理装置Ⅰ・Ⅱ)	1	屋内 3F 制御室	2008年	15年	21.8	—	—	無	—	継続使用	—	

表　アセットマネジメント評価結果一覧（2/4）

No	設備名称	装置名称	品名・規格	ストックマネジメント点検結果整理表の適用種別	数量	設置場所	設置年/更新年	経過年数	アセットマネジメント評価・判定					更新優先順位	更新・対策実施時期	点検業務等の技術的所見事項
									ストック基本評価点数（点検結果整理表）（劣化診断結果整理表）	有効性評価点数	信頼性評価点数	移設・廃止計画の有無	総合評価判定結果			
33	負荷設備	接地端子箱 ETB-1 【2F】	屋内壁掛型	01受変電設備	1	屋内 2F 電気室	2003年	15年	4.8	−	−	無	−	継続使用	−	
34		中継端子盤(1)-1 TB-1-1 【2F】	屋内自立型	01受変電設備	1	屋内 2F 電気室	2003年	15年	4.8	−	−	無	−	継続使用	−	
35		中継端子盤(1)-2 TB-1-2 【2F】	屋内自立型	01受変電設備	1	屋内 2F 電気室	2003年	15年	4.8	−	−	無	−	継続使用	−	
36		中継端子盤(2) TB-2 【2F】	屋内自立型	01受変電設備	1	屋内 2F 電気室	2003年	15年	4.8	−	−	無	−	継続使用	−	
37		コントロールセンタ(1) CC-1-1 【2F】	【型式】屋内自立型 【製作会社】明電舎	10非常警報設備(道路トンネル非常灯装置(監視盤))	1	屋内 2F 電気室	2003年	15年	4.8	−	−	無	−	継続使用	−	
38		コントロールセンタ(2) CC-1-2 【2F】	【型式】屋内自立型 【製作会社】明電舎	10非常警報設備(道路トンネル非常灯装置(監視盤))	1	屋内 2F 電気室	2003年	15年	4.8	−	−	無	−	継続使用	−	
39		コントロールセンタ(3) CC-1-3 【2F】	【型式】屋内自立型 【製作会社】明電舎	10非常警報設備(道路トンネル非常灯装置(監視盤))	1	屋内 2F 電気室	2003年	15年	4.8	−	−	無	−	継続使用	−	
40		コントロールセンタ(4) CC-1-4 【2F】	【型式】屋内自立型 【製作会社】明電舎	10非常警報設備(道路トンネル非常灯装置(監視盤))	1	屋内 2F 電気室	2003年	15年	4.8	−	−	無	−	継続使用	−	
41		コントロールセンタ(5) CC-2-1 【2F】	【型式】屋内自立型 【製作会社】明電舎	10非常警報設備(道路トンネル非常灯装置(監視盤))	1	屋内 2F 電気室	2003年	15年	4.8	−	−	無	−	継続使用	−	
42		コントロールセンタ(6) CC-2-2 【2F】	【型式】屋内自立型 【製作会社】明電舎	10非常警報設備(道路トンネル非常灯装置(監視盤))	1	屋内 2F 電気室	2003年	15年	4.8	−	−	無	−	継続使用	−	
43		コントロールセンタ(7) CC-3-1 【2F】	【型式】屋内自立型 【製作会社】明電舎	10非常警報設備(道路トンネル非常灯装置(監視盤))	1	屋内 2F 電気室	2003年	15年	4.8	−	−	無	−	継続使用	−	
44		コントロールセンタ(8) CC-3-2 【2F】	【型式】屋内自立型 【製作会社】明電舎	10非常警報設備(道路トンネル非常灯装置(監視盤))	1	屋内 2F 電気室	2003年	15年	4.8	−	−	無	−	継続使用	−	
45		コントロールセンタ(9) CC-3-3 【2F】	【型式】屋内自立型 【製作会社】明電舎	10非常警報設備(道路トンネル非常灯装置(監視盤))	1	屋内 2F 電気室	2003年	15年	4.8	−	−	無	−	継続使用	−	
46		分電盤 M-1	屋内自立型	01受変電設備	1	屋内 2F 電気室	2003年	15年	4.8	−	−	無	−	継続使用	−	
47		照明分電盤 L-1	屋内自立型	01受変電設備	1	屋内 1F	2003年	15年	4.8	−	−	無	−	継続使用	−	
48		照明分電盤 L-2	屋内自立型	01受変電設備	1	屋内 2F	2003年	15年	4.8	−	−	無	−	継続使用	−	
49		照明分電盤 L-3	屋内自立型	01受変電設備	1	屋内 3F	2003年	15年	4.8	−	−	無	−	継続使用	−	
50		端子盤(電話設備) T-B1	屋内自立型	01受変電設備	1	屋内 B1F	2003年	15年	4.8	−	−	無	−	継続使用	−	
51		端子盤(電話設備) T-B2	屋内自立型	01受変電設備	1	屋内 B2F	2003年	15年	4.8	−	−	無	−	継続使用	−	
52		端子盤(電話設備) T-B3	屋内自立型	01受変電設備	1	屋内 B3F	2003年	15年	4.8	−	−	無	−	継続使用	−	
53		端子盤(電話設備) T-B4	屋内自立型	01受変電設備	1	屋内 B4F	2003年	15年	4.8	−	−	無	−	継続使用	−	
54		端子盤(電話設備) T-B5	屋内自立型	01受変電設備	1	屋内 B5F	2003年	15年	6.3	−	−	無	−	継続使用	−	
55		端子盤(電話設備) T-B6	屋内自立型	01受変電設備	1	屋内 B6F	2003年	15年	8.5	−	−	無	−	継続使用	−	
56		端子盤(電話設備) T-1	屋内自立型	01受変電設備	1	屋内	2003年	15年	4.8	−	−	無	−	継続使用	−	
57		端子盤(電話設備) T-2	屋内自立型	01受変電設備	1	屋内	2003年	15年	4.8	−	−	無	−	継続使用	−	
58		端子盤(電話設備) T-3	屋内自立型	01受変電設備	1	屋内	2003年	15年	4.8	−	−	無	−	継続使用	−	
59		作業用電源盤1A SS-1A 【B1F】	屋内壁掛型、100V、200V	01受変電設備	1	屋内 B1F	2003年	15年	4.8	−	−	無	−	継続使用	−	
60		作業用電源盤1B SS-1B 【B2F】	屋内壁掛型、100V、200V	01受変電設備	1	屋内 B2F	2003年	15年	4.8	−	−	無	−	継続使用	−	
61		作業用電源盤1C SS-1C 【B3F】	屋内壁掛型、100V、200V	01受変電設備	1	屋内 B3F	2003年	15年	4.8	−	−	無	−	継続使用	−	
62		作業用電源盤1D SS-1D 【B4F】	屋内壁掛型、100V、200V	01受変電設備	1	屋内 B4F	2003年	15年	4.8	−	−	無	−	継続使用	−	

表　アセットマネジメント評価結果一覧（3/4）

No	設備名称	装置名称	品名・規格	ストックマネジメント点検結果整理表の適用種別	数量	設置場所	設置年/更新年	経過年数	アセットマネジメント評価・判定 ストック基本評価点数（点検結果整理表）（劣化診断結果整理表）	有効性評価点数	信頼性評価点数	移設・廃止計画の有無	総合評価判定結果	更新優先順位	更新・対策実施時期	点検業務等の技術的所見事項
63	負荷設備	作業用電源盤1E SS-1E 【B5F】	屋内壁掛型、100V、200V	01受変電設備	1	屋内 B5F 原動機室	2003年	15年	4.8	―	―	無	―	継続使用	―	
64		作業用電源盤1F SS-1F 【B6F】	屋内壁掛型、100V、200V	01受変電設備	1	屋内 B6F ポンプ室	2003年	15年	4.8	―	―	無	―	継続使用	―	
65		作業用電源盤2 SS-2 【屋外】	屋外壁掛型、100V、200V	01受変電設備	1	屋外	2003年	15年	4.8	―	―	無	―	継続使用	―	
66		作業用電源盤3 SS-4 【沈砂池上部】	屋外壁掛型、100V、200V	01受変電設備	1	屋外 沈砂池上部	2003年	15年	5.4	―	―	無	―	継続使用	―	
67		No.1オートリフター操作盤・電灯分電盤 L-B1 【B1F】	屋内壁掛型、100V	01受変電設備 24河川情報表示設備(操作盤)【改】	1	屋内 B1F	2003年	15年	4.8	―	―	無	―	継続使用	―	
68		No.2オートリフター操作盤・電灯分電盤 L-B2 【B2F】	屋内壁掛型、100V	01受変電設備 24河川情報表示設備(操作盤)【改】	1	屋内 B2F 脱臭機室	2003年	15年	5.7	―	―	無	―	継続使用	―	
69		No.3オートリフター操作盤・電灯分電盤 L-B3 【B3F】	屋内壁掛型、100V	01受変電設備 24河川情報表示設備(操作盤)【改】	1	屋内 B3F 脱臭機室	2003年	15年	4.8	―	―	無	―	継続使用	―	
70		No.4オートリフター操作盤・電灯分電盤 L-B4 【B4F】	屋内壁掛型、100V	01受変電設備 24河川情報表示設備(操作盤)【改】	1	屋内 B4F 換気機械室	2003年	15年	4.8	―	―	無	―	継続使用	―	
71		No.5オートリフター操作盤・電灯分電盤 L-B5 【B5F】	屋内壁掛型、100V	01受変電設備 24河川情報表示設備(操作盤)【改】	1	屋内 B5F 原動機室	2003年	15年	10.8	―	―	無	―	継続使用	―	
72		No.6オートリフター操作盤・電灯分電盤 L-B6 【B6F】	屋内壁掛型、100V	01受変電設備 24河川情報表示設備(操作盤)【改】	1	屋内 B6F ポンプ室	2003年	15年	4.8	―	―	無	―	継続使用	―	
73	機側操作設備	流入ゲート操作盤 【沈砂池上部】	屋内自立型	24河川情報表示設備(操作盤)【改】	1	屋外 沈砂池上部	2003年	15年	8.9	―	―	無	―	継続使用	―	
74		主ポンプ機側盤 LB-01 【B5F】	屋内自立型	24河川情報表示設備(操作盤)【改】	1	屋内 B5F 原動機室	2003年	15年	7.8	―	―	無	―	継続使用	―	
75		燃料移送ポンプ機側盤 LB-101 【1F】	屋内自立型	24河川情報表示設備(操作盤)【改】	1	屋内 1F 自家発室	2003年	15年	7.8	―	―	無	―	継続使用	―	
76		冷却・排水ポンプ機側盤 LB-102 【B6F】	屋内自立型	24河川情報表示設備(操作盤)【改】	1	屋内 B6F ポンプ室	2003年	15年	7.8	―	―	無	―	継続使用	―	
77		原動機室給気ファン機側盤 LB-103 【B4F】	屋内自立型	24河川情報表示設備(操作盤)【改】	1	屋内 B4F 換気機械室	2003年	15年	7.8	―	―	無	―	継続使用	―	
78		原動機室排気ファン/パッケージ排気ファン/パッケージファン機側盤 LB-104 【B5F】	屋内自立型	24河川情報表示設備(操作盤)【改】	1	屋内 B5F 原動機室	2003年	15年	7.8	―	―	無	―	継続使用	―	
79		放流ゲート機側盤 LB-105 【屋外】	屋内自立型	24河川情報表示設備(操作盤)【改】	1	屋外	2003年	15年	7.8	―	―	無	―	継続使用	―	
80		脱臭ファン機側盤 LB-106 【B1F】	屋内自立型	24河川情報表示設備(操作盤)【改】	1	屋内 B1F	2003年	15年	7.8	―	―	無	―	継続使用	―	
81		主ポンプ電動吐出弁機側盤 LB-107 【B6F】	屋内自立型	24河川情報表示設備(操作盤)【改】	1	屋内 B6F ポンプ室	2003年	15年	7.8	―	―	無	―	継続使用	―	
82		床排水ポンプ機側盤 LB-202 【B6F】	屋内自立型	24河川情報表示設備(操作盤)【改】	1	屋内 B6F ポンプ室	2003年	15年	5.3	―	―	無	―	継続使用	―	
83		床排水中継ポンプ機側盤 LB-204 【B3F】	屋内自立型	24河川情報表示設備(操作盤)【改】	1	屋内 B3F 脱臭機室	2003年	15年	5.3	―	―	無	―	継続使用	―	
84		No.1-2-3送風機機側盤 LB-301 【B4F】	【型式】屋内自立型 【電圧】100V	24河川情報表示設備(操作盤)【改】	1	屋内 B4F 換気機械室	2003年	15年	5.3	―	―	無	―	継続使用	―	
85		No.1-2排風機機側盤 LB-302 【B4F】	屋内自立型、100V	24河川情報表示設備(操作盤)【改】	1	屋内 B4F 換気機械室	2003年	15年	5.3	―	―	無	―	継続使用	―	
86		No3送排風機機側盤 LB-303 【B3F】	屋内自立型、100V	24河川情報表示設備(操作盤)【改】	1	屋内 B3F 脱臭機室	2003年	15年	5.3	―	―	無	―	継続使用	―	
87		No4送排風機機側盤 LB-304 【B2F】	屋内壁掛型、100V	24河川情報表示設備(操作盤)【改】	1	屋内 B2F 脱臭機室	2003年	15年	5.3	―	―	無	―	継続使用	―	
88		No5-1送風機/No5-2排風機機側盤 LB-305 【B1F】	屋内スタンド型、100V	24河川情報表示設備(操作盤)【改】	1	屋内 B1F	2003年	15年	5.3	―	―	無	―	継続使用	―	
89		No6送排風機機側盤 LB-306 【1F】	屋内スタンド型、100V	24河川情報表示設備(操作盤)【改】	1	屋内 1F 自家発室	2003年	15年	5.3	―	―	無	―	継続使用	―	
90		No7送風機機側盤 LB-307 【2F】	屋内壁掛型、100V	24河川情報表示設備(操作盤)【改】	1	屋内 2F 電気室	2003年	15年	5.3	―	―	無	―	継続使用	―	
91		No7排風機機側盤 LB-308 【2F】	屋内スタンド型、100V	24河川情報表示設備(操作盤)【改】	1	屋内 2F 電気室	2003年	15年	5.3	―	―	無	―	継続使用	―	

表　アセットマネジメント評価結果一覧（4/4）

No	設備名称	装置名称	品名・規格	ストックマネジメント点検結果整理表の適用種別	数量	設置場所	設置年/更新年		経過年数	アセットマネジメント評価・判定					更新優先順位	更新・対策実施時期	点検業務等の技術的所見事項
										ストック基本評価点数（点検結果整理表）（劣化診断結果整理表）	有効性評価点数	信頼性評価点数	移設・廃止計画の有無	総合評価判定結果			
92	機側操作設備	雨水ポンプ機側盤 LB-309【屋外】	屋内スタンド型、100V	24河川情報表示設備(機側盤)【改】	1	屋外	2003	年	15年	5.3	―	―	無	―	継続使用	―	
93		沈砂池排水ポンプ機側盤 LB-401【沈砂池上部】	屋内スタンド型、100V	24河川情報表示設備(機側盤)【改】	1	屋外 沈砂池上部	2003	年	15年	5.3	―	―	無	―	継続使用	―	
94		排泥ポンプ機側盤 LB-501【B6F】	屋内スタンド型、100V	24河川情報表示設備(機側盤)【改】	1	屋内 B6F ポンプ室	2003	年	15年	5.3	―	―	無	―	継続使用	―	
95		雨量計	屋内スタンド型、100V	13雨量水位検出設備【改】	1	屋上	2003	年	15年	25.5	―	―	無	―	継続使用	―	
96		水位計(今井川上流)	屋内壁掛型、200V	13雨量水位検出設備【改】	1	屋外 今井川上流	2003	年	15年	3.0	―	―	無	―	継続使用	―	
97		水位計(今井川下流)	屋内壁掛型、200V	13雨量水位検出設備【改】	1	屋外 今井川下流	2003	年	15年	25.5	―	―	無	―	継続使用	―	
98		水位計(沈砂池)	屋内壁掛型、200V	13雨量水位検出設備【改】	1	沈砂池内部	2003	年	15年	25.5	―	―	無	―	継続使用	―	
99		水位計(地下調節池)(1)	屋内壁掛型、200V	13雨量水位検出設備【改】	1	調整池内部	2003	年	15年	25.5	―	―	無	―	継続使用	―	
100		水位計(地下調節池)(2)	屋内壁掛型、200V	13雨量水位検出設備【改】	1	調整池内部	2003	年	15年	25.5	―	―	無	―	継続使用	―	
101		No.1地下タンク油面計	屋内壁掛型、200V	13雨量水位検出設備【改】	1	地下	2003	年	15年	25.5	―	―	無	―	継続使用	―	
102		No.2地下タンク油面計	屋内壁掛型	13雨量水位検出設備【改】	1	地下	2003	年	15年	25.5	―	―	無	―	継続使用	―	

3. コスト縮減効果

事後保全案と長寿命化案における 50 年間の事業費を比較し、長寿命化によるコスト縮減効果を確認した。

施工性等を考慮した効率的な整備・更新の実施

主ポンプ、吐出弁等の弁類、電動機等の分解整備（オーバーホール）に実施にあたり、マニュアル（案）では、部品（ケーシング、インペラ、軸受等）ごとに年数が設定されているが、施工性（工場への運搬等）を考慮すると No.1 主ポンプ、No.2 主ポンプのように機器単位でまとめて実施するのが効率的である。よって、計画策定（費用算出）にあたっては、No.1 主ポンプ、No.1 吐出弁といった機器単位で分解整備、更新を実施することを想定した費用を計上する。

また、床排水ポンプのような小規模な機器については、人件費等を考慮すると分解整備（オーバーホール）を実施するよりも更新した方が安価となる場合がある。よって、分解整備を実施する機器については、メーカーに分解整備を実施した場合の費用と更新した場合の費用を確認し、比較したうえで、分解整備を実施する機器を設定するものとする。

腐食対策

ポンプ設備、ゲート設備は、各種設備機器が長期間接水もしくは多湿状態の腐食性のある環境下にあり、さらに流水、風雨、日光、高温などの厳しい条件にさらされている機器もある。このため、設備・機器の長寿命化に当たっては腐食対策が重要となってくる。

腐食対策に当たっては、設置環境及び使用条件（運転条件、運転頻度、対象部位の位置や大きさ、作業性等）に応じて適切な防食方法を選定する必要がある。

(1) ゲート設備（扉体）、スクリーン

流入ゲート、放流ゲートの扉体及びスクリーンはステンレス鋼（耐食性材料）であり、防食性を考慮したものとなっている。

よって、計画策定に当たっては、次回更新時においても同様の材料にて更新するものとして費用を計上する。

施設の集約・撤去

今井川地下調節池の河川管理施設は、限られた施設の容積の中で計画上の要求能力を満たす最低限度の構成で作られている。その施設も 20 余年の運用の中で様々な知見が蓄積され、施設の冗長性についても見えてきた部分があるので、集約・撤去について検討する。

・排泥ポンプ No1-1、No1-2、No2、No3

排泥ポンプは主排水ポンプでは排出が困難なピットの底の水を排出する目的で設置されたものであるが、現在のところ主ポンプで排水しきった状態でも浚渫などを行う場合において特に問題となることはないため、今後は運用を停止し経費圧縮の対象とする。

新技術等の活用

機器の更新の折には積極的にトップランナー機器を導入し、機器の運転効率を向上させ運用コストの削減を図る。

① トップランナー変圧器

受電設備の更新の際にトップランナー変圧器を導入する。既設の機器を現時点のトップランナーで更新することで、電力の変換効率は約 30%の改善が見込まれる。

② トップランナー電動機

電動機は既設機器の定格出力やポール数により改善効果に幅があるが、およそ５％の効率化が見込まれる。見直しの対象となる機器は以下の通り。

・No1 沈砂池排水ポンプ

・No2 沈砂池排水ポンプ

・No1 床排水ポンプ

・No2 床排水ポンプ

・No1 床排水中継ポンプ

・No2 床排水中継ポンプ

・No1 発電機用燃料移送ポンプ

・No2 発電機用燃料移送ポンプ

・No1 原動機用燃料移送ポンプ

・No2 原動機用燃料移送ポンプ

・No1 返油ポンプ

・No2 返油ポンプ

・No1 廃油ポンプ

・No2 廃油ポンプ

・No1 流入ゲート油圧ユニット

・No2 流入ゲート油圧ユニット

・放流ゲート開閉器

・No1 脱臭ファン

・No2 脱臭ファン

③ トップランナーエアコンディショナー

業務用エアコンの更新に関しては約 18.2%の効率改善が見込める。見直しの対象となる機器は以下の通り。

・パッケージ型空気調和器（操作室）

・パッケージ型空気調和器（UPS 室）

・パッケージ型空気調和器（工作室）

コスト縮減効果（今井川地下調節池）

今井川地下調節池について、CASE1：従来案（これまでの事後保全を主体とした維持管理を実施）した場合と、CASE3：平準化案（予防保全を主体とし、機器の施設への影響度に応じて事後保全を適宜行う維持管理を実施し、予算の平準化を考慮）した場合を比較すると、点検・整備を確実に実施することにより施設の長寿命化を図ることで本計画期間（50 年間）において約35.8億円のコスト縮減を図れることを確認した。

単位：百万円

		2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041	2042
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
CASE1：従来案	年度毎の合計	390.3	150.7	367.0	152.4	210.6	109.6	381.7	409.6	182.4	326.9	114.6	71.4	92.0	31.5	29.5	106.6	27.8
	累積費用	390.3	541.0	908.0	1,060.4	1,271.0	1,380.6	1,762.3	2,171.9	2,354.3	2,681.2	2,795.8	2,867.2	2,959.2	2,990.7	3,020.2	3,126.8	3,154.6
CASE3：長寿命平準化案	年度毎の合計	174.6	64.1	73.8	80.6	24.3	21.6	199.0	181.5	108.0	107.7	216.2	115.2	63.3	212.8	164.9	21.6	35.1
	累積費用	174.6	238.7	312.5	393.1	417.4	439.0	638.0	819.5	927.5	1,035.2	1,251.4	1,366.6	1,429.9	1,642.7	1,807.6	1,829.2	1,864.3

		2043	2044	2045	2046	2047	2048	2049	2050	2051	2052	2053	2054	2055	2056	2057	2058	2059
		18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
CASE1：従来案	年度毎の合計	307.7	244.5	267.8	351.4	166.8	276.4	22.9	74.7	121.2	204.8	113.2	87.2	46.0	162.2	145.4	205.9	103.6
	累積費用	3,462.3	3,706.8	3,974.6	4,326.0	4,492.8	4,769.2	4,792.1	4,866.8	4,988.0	5,192.8	5,306.0	5,393.2	5,439.2	5,601.4	5,746.8	5,952.7	6,056.3
CASE3：長寿命平準化案	年度毎の合計	201.6	167.4	119.4	133.3	42.6	103.2	80.9	108.1	33.6	47.6	102.8	112.6	192.6	292.0	116.0	285.8	97.2
	累積費用	2,065.9	2,233.3	2,352.7	2,486.0	2,528.6	2,631.8	2,712.7	2,820.8	2,854.4	2,902.0	3,004.8	3,117.4	3,310.0	3,602.0	3,718.0	4,003.8	4,101.0

		2060	2061	2062	2063	2064	2065	2066	2067	2068	2069	2070	2071	2072	2073	2074	2075
		35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50
CASE1：従来案	年度毎の合計	340.6	443.9	185.4	230.8	31.6	127.2	243.1	182.7	113.0	133.3	122.3	275.2	156.2	183.9	267.2	42.8
	累積費用	6,397.0	6,840.9	7,026.3	7,257.1	7,288.7	7,415.9	7,659.0	7,841.7	7,954.7	8,088.0	8,210.3	8,485.5	8,641.7	8,825.6	9,092.8	9,135.6
CASE3：長寿命平準化案	年度毎の合計	29.5	104.8	109.8	114.5	64.9	101.0	88.9	161.8	115.2	88.8	107.3	130.6	26.6	21.6	32.3	159.1
	累積費用	4,130.5	4,235.3	4,345.1	4,459.6	4,524.5	4,625.5	4,714.4	4,876.2	4,991.4	5,080.2	5,187.5	5,318.1	5,344.7	5,366.3	5,398.6	5,557.7